

## ステップアップガイド

PC-9821 Nr150/S20

●本機の機能について

●周辺機器を使う

●システムの設定を変える

# **98 NOTE** Lavie

- ・注意事項を守って製品をご使用ください。
- ・このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に保管してください。

このマニュアルでは、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。



注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。

<b>本</b> 物注意	毒性の物質による傷害の可能性 が想定されることを示します。	感電注意	感電の可能性が想定されること を示します。
<b>永</b> 発火注意	発煙または発火の可能性が想定 されることを示します。	けが注意	けがを負う可能性が想定される ことを示します。
<u> 破裂注意</u>	破裂の可能性が想定されること を示します。	高温注意	高温による傷害の可能性が想 定されることを示します。

#### その他の注意事項は次のマークで表しています。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの 基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。

対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、 それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのこと がありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。 これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる 責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95および本機に添付のCD-ROM、 フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NTおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの 米国およびその他の国における登録商標です。

Pentium、MMXは Intel Corporationの登録商標です。

TranXitおよびPumaは Puma Technology, Inc. の登録商標です。

OS/2は米国IBM Corporationの商標です。

CIRRUS LOGICは米国シーラス・ロジック社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

本文中に記載されているWindows 95の正式名称はMicrosoft® Windows® 95 Operating Systemです。

本文中に記載されているWindows 3.1の正式名称はMicrosoft® Windows® Operating System Version 3.1です。

本文中に記載されているWindows NT 3.51の正式名称はMicrosoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 3.51です。

本文中に記載されているWindows NT 4.0の正式名称はMicrosoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0です。

© NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

808-875488-100-A

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、 必ずご購入元にご相談ください。

専用回線(符号品目):M98-N010-0

#### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。 この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して 使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

「バッテリパックを取り付けていない場合」
 本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。
 「バッテリパックを取り付けている場合」
 本装置にバッテリパック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

#### 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国 外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよ び技術サポート等は行っておりません。



このマニュアルは、本機の基本的な操作方法を習得され た方のために、より詳しい使用方法を説明しています。 本機固有の機能や機器の拡張方法について詳しく説明 していますので、必要に応じてご利用ください。

1998年2月 初版

## このマニュアルの表記について

#### このマニュアルで使用している記号には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明してい ます。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、本機が 故障したり、本機で使用しているソフトウェアや、お客様が作成さ れたデータが壊れたりする可能性もあります。
	参考にしていただきたいことを説明しています。
	本文中に出てくる用語の説明や、知っておくとよいことなどを説明 しています。
E Contraction de la contractio	参照ページを表しています。

このマニュアルで使用している表記には、次のような意味があります。

本機	PC-9821Nr150/S20[型番:PC9821NR150S20 を表します。
Windows	Microsoft <sub>®</sub> Windows <sub>®</sub> 95を指します。
MS-DOS	MS-DOS <sub>®</sub> 6.2を指します。
[XXX]	[ ] 「で囲んである文字は、画面に表示されるダイアログボックス、 ボタンなどの名前を表しています。 例 : [ OK <b>ボ</b> タン
クリック	操作手順中「クリック」とある場合は、特にことわりがない限り左クリ ックを表します。
ESC	キーボードのキーは、枠で囲んで表記しています。

本文中の画面は、実際の画面と異なることがあります。

安全にお使いいただくために

#### 異常や故障の場合には



#### ▲注意



液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。

液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。 また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄してください。

#### 取り扱い上の注意



#### 使用上の注意



電源コードを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。 コードを引っ張って抜くと、断線して火災の原因となります。





バッテリパック使用上の注意



## 

コンピュータを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業にくらべて次のような症状がおこりやすくなると言われています。

・眼が疲れたり、重く感じる。

・ものがぼやけてみえる。

・疲れやすい。

・頚から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛みを感じたりする。

このような症状の感じ方は、作業時間や状況により個人差がありますが、次のことを心がけるようにしましょう。

・1時間の作業につき10~15分の作業休止時間をとる。

・適度な休憩をとり、軽い体操をするなど、気分転換をはかる。

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

#### 良い作業姿勢をとりましょう

コンピュータを使用する際の基本的な姿勢は、背すじを伸ばして椅子に座り、両手を床 とほぼ平行にキーボードに置き、視線が目の高さよりやや下向きに画面に注がれている という姿勢です。良い姿勢とは、この基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余 分な力が入っていない姿勢です。



#### 機器をこまめに調節しましょう

機器の調節ができる場合は、使いやすい状態にこまめに調節してください。

液晶ディスプレイの角度調節

本機の液晶ディスプレイは、角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に 映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、液晶ディスプレイの角度を調節 することは大変重要です。

画面の輝度 明るさ 調節

年齢や個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度は異なります。そのため、 画面の輝度は、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要です。



#### 機器を清掃しましょう

液晶ディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると表示内容が見にくくなる原因となります。また、98スライドパッドに水分や油分などの汚れが付着すると正常に操作できなくなることがあります。本機は定期的に清掃してください(『アP.145)。



はじめに

このマニュアルの表記について	iv
安全にお使いいただくために	v
健康のために	ix



#### Part 本機の機能について 1

各部の名称
バッテリ 8
バッテリの充電 8
バッテリで使う
バッテリパック交換のめやす1
バッテリパックを交換する1 <sup>-</sup>
サスペンド/レジューム機能 14
サスペンド/レジュームする14
サスペンド/レジュームするときの注意1
ハイバネーション機能 19
ハイバネーションを使えるように設定する1
ハイバネーション状態にする
ハイバネーション状態にするときの注意22
ハイバネーション機能の有効/無効を切り替える
省電力機能
CPUの節電2:
ディスプレイの節電20
ハードディスクの節電28
セキュリティ機能29
パワーオンパスワード設定時の電源のON30
パワーオンパスワード設定時のレジューム
赤外線通信機能
赤外線通信機能を使えるように設定する
機器の配置について34
サウンド機能
音量を調節する
サウンドデバイスの切り替え39
サウンド機能利用上の注意40
表示機能
表示できる解像度と表示色42
解像度と表示色を変更する43

# Part 2 周辺機器を使う

•		•••
	接続できる周辺機器	46
	周辺機器の取り付け/取り外しの注意	48
	ケーブルについて	48
	周辺機器を利用する前に	49
	周辺機器用のドライバ	49
	プリンタを使う	55
	プリンタを接続する	55
	プリンタを設定する	56
	メモリを増やす	62
	メモリを取り付ける/取り外す	62
	増やしたメモリを確認する	67
	PCカードを使う	69
	PCカードの取り扱い上の注意	69
	PCカードの出し入れ	70
	PCカードの設定をする	72
	ディスプレイ/プロジェクタを使う	79
	ディスプレイの種類と解像度	79
	液晶プロジェクタの種類と解像度	80
	CRTディスプレイを接続する	81
	テレビを接続する	83
	ディスプレイに合わせて本機を設定する	85
	表示を切り替える	87
	表示画面の大きさを変える	88
	MIDI対応機器/ジョイスティックを使う	89
	MIDI対応機器/ジョイスティックを接続する	89
	MIDI音源使用上の注意	89
	入力装置を使う(マウス・キーボード・テンキーボード)	90
	入力装置を接続する	90
	オーディオ機器を使う	91
	シリアル対応機器を使う	92

3 システムの設定を変える

#### 付録

Part

Windows 95でMS-DOSモードを利用する128
MS-DOSモードを利用する128
DOS環境設定ユーティリティ130
USKCGMコマンド134
マルチメディア機能の利用140
日本語入力機能142
CD-ROMドライバ144
本機のお手入れ146
消耗品一覧148
オプション品一覧149
本製品の譲渡について150
本機の廃棄方法について151
バッテリパックの廃棄について151
サブバッテリの廃棄について151
目的別索引 154
索引 156
機能仕様



各部の名称 バッテリ サスペンド/レジューム機能 ハイバネーション機能 省電力機能 セキュリティ機能 赤外線通信機能 サウンド機能

表示機能



ここでは、本機の各部の名称について説明しています。 各部の取り扱い方法や詳しい 操作方法については、各項目にある参照ページをご覧ください。





🔹 盗難防止用ロック -

盗難防止用ロックは Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。 日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラロイド株式会社 電子映像営業グループ 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル Tel:03-3438-8879 Fax:03-5473-1630

#### 表示ランプ



#### 電源ランプ

緑	電源0N
オレンジ	バッテリ容量が少ない
消灯	電源OFFまたはサスペンド状態

#### バッテリ充電ランプ

オレンジ	点灯	バッテリ充電中
	点滅	バッテリリフレッシュが必要( 🗊 P.103 )
消灯	バッテリ充	電完了

#### サスペンドランプ

緑	サスペンド状態
消灯	サスペンド状態でない

#### ハードディスクアクセスランプ

緑	ハードディスクのデータにアクセス中
消灯	ハードディスクのデータにアクセスしていない

#### フロッピーディスクアクセスランプ

緑	フロッピーディスクのデータにアクセス中
消灯	フロッピーディスクのデータにアクセスしていない

#### CAPSキーロックランプ

緑	CAPS がロックされている
	この状態のときに 英字を入力すると大文字で入力されます。
消灯	CAPSがロックされていない

#### <u>かな</u>キーロックランプ

緑	かな」がロックされている この状態のときにキー入力するとかなが入力されます。
消灯	かながロックされていない

#### NUMキーロックランプ

緑	NUM がロックされている
	この状態のときにキー入力するとキー前面の文字が入力されます。
消灯	NUMがロックされていない

本機の機能について

キーボード



キーのロック

**CAPS**、 **かな**、 **NUM** の3つのキーは、一度押すとその機能がロックされた状態になります(P.4) ロックを解除するにはもう一度同じキーを押します。

キーの使い方

いくつかの文字や記号が書かれているキーは、SHIFT、CAPS、かな、NUMと組み合わせて押すと文字や記号を入力しわけることができるようになっています。



#### フロッピーディスクドライブ



フロッピーディスクアクセスランプ( 凹)が点灯しているときにはフロッピー ディスクを取り出さないでください。データの破損や本機の故障の原因となり ます。

#### フロッピーディスクの取り扱い上の注意

フロッピーディスクが壊れると、大切なデータやソフトウェアが使えなくなります。次のことに注意して大切に取り扱ってください。

フロッピーディスクドライブに は、ていねいに奥まで静かに 挿入してください。	ラベルは正しい位置に貼って ください。	使用後は収納箱へ入れて保 管してください。	ゴミやホコリの多い場所で の使用、保管は避けてくだ さい。
鉛筆での記入や消しゴムの 使用は避けてください。	シャッターは開けないでくださ い。	フロッピーディスクの上にも のを載せないでください。	直射日光の当たる場所や 暖房器具の近くなど、温度 の高くなる場所に置かない でください。
飲食、喫煙しながらの使用は 避けてください。	溶剤類、飲み物などを近づけ ないでください。	磁石などの磁気をおびたも のを近づけないでください。	クリップ等ではさんだり、投 げたり、落としたりしないで ください。

フロッピーディスクのフォーマット(初期化)

フロッピーディスクを使うには、フォーマット(初期化)をする必要があります。フォーマットは Windows 95で行うことができます。詳しくはWindows 95のヘルプをご覧ください。

- 1.44Mバイトフォーマットのフロッピーディスクを使用する際の注意 本機で、1.44Mバイトでフォーマットされたフロッピーディスクを使う場合には、次のよう な制限があります。
  - システムディスクとしては使用できません。データの読み書き用としてのみお使いください。
  - ・ 2DDタイプの起動ディスクでシステムを起動した場合は、1.44Mバイトフォーマットのフロッピーディスクは使用できません。

ACコンセントのない場所で本機を使うには、添付のバッテリパックを使います。

バッテリの充電.....

バッテリ

本機にバッテリパックを取り付けてACアダプタを接続すると、自動的にバッテリの充電がはじまります。バッテリは、電源が0FFの状態でも充電できます。

バッテリ充電中	バッテリ充電ランプがオレンジに点灯
バッテリ充電完了	バッテリ充電ランプが消灯



バッテリパックの接続方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。 バッテリの充電時間についてはP.159をご覧ください。

本機の機能について

## バッテリで使う.....

ACアダプタを接続しない状態で電源をONにすると、本機をバッテリで使うことができます。バッテリでの駆動時間についてはP.159をご覧ください。

バッテリ駆動中にバッテリ残量が少なくなると、電源ランプ(②)がオレンジ色に点灯し、警告音がなります。このような場合は次の操作をしてください。



サスペンドについてはP.14をご覧ください。ハイバネーションについてはP.19をご覧 ください。

#### バッテリの残量を確認する

Windowsでバッテリの残量を確認することができます。

・タスクバーの賞アイコンをポイントして確認する



・タスクバーの賞アイコンをダブルクリックして詳細を確認する



#### バッテリ使用時の注意

- ・周囲の温度によって、充電する電池容量が変わります。18~28度での充電をおすす めします。
- ・充電中はバッテリパックを本機から取り外さないでください。ショートや接触不良の原因 になります。
- ・フロッピーディスクやハードディスクの読み書き中にバッテリ残量がなくなり、電源が OFFになってしまうと、作成中のデータが失われるだけでなく、フロッピーディスクや ハードディスクのデータが壊れてしまうことがあります。
- ・Windowsの[スタート)ボタン [設定][コントロールパネル][パワーマネージメント] で「Windowsでコンピュータの電源管理をする」を「(オフ)にしているときには、バッ テリ残量は表示されません。

本機の機能について

## バッテリパック交換のめやす .....

添付のバッテリパックは充電を繰り返し長期間使用すると自然に充電能力が低下しま す。このようなときにはバッテリリフレッシュ機能(③P.103)を使ってバッテリの能力を回 復させることができます。ただし、次のような症状がでたら、新しいバッテリパック(PC-9821NR-U02)を購入して交換してください。

・バッテリを満充電しても、使用時間が少ない

・バッテリリフレッシュしても充電可能容量が回復しない

## バッテリパックを交換する .....



感電注意

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。

- ◀ 本機の電源を0FFにします。
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜きます。
- 3 本機からACアダプタを取り外します。
- ▲ 本機のフタ 液晶ディスプレイを閉じ、本機を裏返します。





5 カバーを、上方向に取り外します。



図のようにしてバッテリパックを取り外します。 7



本機の機能について





バッテリパックの端子部分には絶対に触らないでください。接触不良の原因になります。

**9** 👎

手順6で外したカバーを、取り外したときと逆の手順で取り付けます。

10 ACアダプタを本機に接続し、電源コードをACコンセントにつなぎ、本機の電源を ONにします。



別売のバッテリパックに添付のバッテリケースは、本機では使用しません。 不要になったバッテリパックは地方自治体の条例に従って廃棄してください。

## サスペンド/レジューム機能

実行中の作業を一時中断して作業内容をメモリ(RAM)に保存しておく機能をサスペンド機能といいます。また、サスペンド状態にした作業を再開することをレジュームといいます。

サスペンド状態のときにはデータ保存用以外の電源供給が停止されます。



サスペンド/レジュームする.....

サスペンド/レジュームするには次のような方法があります。

#### サスペンドスイッチを使う





- ・サスペンド状態にしてからすぐにもとの状態に戻すときには、本機の負担とならないよう、サスペンドランプ、 が点灯してから少なくとも5秒以上の間隔をあけて行ってください。
- ・サスペンドスイッチを押しながら同時に電源スイッチをスライドさせたときには、サスペンド状態にならずに電源がOFFになってしまうので注意してください。
- ・ 98NOTEメニュー、98NOTEメニューユーティリティで「サスペンドスイッ チ」を(無効)にしているときには、この方法でサスペンドできません。

本機の機能について

#### Windowsのスタートメニューを使う

サスペンドするには レジュームするには	[ スタート ]メニューの[ サスペンド ]をクリックします。 サスペンドスイッチを押します。	
<ul> <li>□ フログラム(P)</li> <li>○ 最近使ったファイル(D)</li> <li>○ 最近使ったファイル(D)</li> <li>○ 酸定(S)</li> <li>○ 検索(D)</li> <li>○ ペレフ(U)</li> <li>○ ファイル名を指定して実行</li> </ul>	τ.	
2000 サスヘンド型 2000 Windows の終了(型 2010 ■ 23-1-1	★ [サスペンド 陸クリックします [スタート ボタンをクリックし、[スタート メニューを表示	
	させます	



- ・Windowsの[コントロールパネル][パワーマネージメント][電源のプロ パティ][パワーマネージメント]で、[Windowsでコンピュータの電源管 理をする を 「(オフ)に設定しているときには、この方法でサスペンドする ことはできません。
- Windowsの[コントロールパネル][パワーマネージメント][詳細]で[ス タートメニューのサスペンドコマンドの表示 を 「(オフ)にしているときに は、スタートメニューに「サスペンド」が表示されません。

液晶ディスプレイの開閉でサスペンド/レジュームする



この機能を使うには、98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの 「LCD連動サスペンド/レジューム」で設定が必要です(ごP.109)。



- ・この設定をした場合は、Windowsの終了処理中にフタ(液晶ディスプレイ) を閉じないでください。
- ・サスペンド状態にしてからすぐにもとの状態に戻す(レジュームする)ときには、本機の負担とならないよう、サスペンドランプが点灯してから少なくとも5秒以上の間隔をあけて行ってください。

#### 自動的にサスペンド/レジュームする(オートサスペンド)

サスペンドするには ポインティングデバイスやキーボードからの入力がなく設定し た時間が経過すると、自動的にサスペンド状態になります。 レジュームするには サスペンドスイッチを押します。

この機能を使うには、98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの「オートサスペンド」で設定が必要です(③P.109)。また、この機能はWindowsで設定することもできます。Windowsのコントロールパネルでは、自動的にレジュームするように設定することもできます。

- Windowsのコントロールパネルからの設定方法

  - 2 [SLエンハンスドオプション ボタン 死 をクリックします。 下のような画面が表示されます。

suエンハンスドオラション - CPU速度( <u>C</u> ) 100%	SC THORE
	_ 再開
◎直ちに中断( <u>I</u> )	■ モデム リングで指定( <u>M</u> )
o アイドル状態まで待つ( <u>D</u> )	□日付/時刻で指定( <u>T</u> )
- 自動中断	
■ アイドル状態まで待つ( <u>U</u> )	:

- 3
- [自動中断 」の欄で、[?分後 」をクリックし回にし、何分後にオートサスペンドにする かを選びます。



設定できる時間は5、9、13、17、21、25、29分のみです。これ以外の時間を設定したときは、この値にくり上がって実行されます。

本機の機能について



- **5** レジュームしたい日にちと時間を入力します。
- [OK ボタンをクリックします。
- 7 さらにて OK ボタンをクリックします。

## サスペンド/レジュームするときの注意.....

#### こんなときはサスペンドしないでください

- ・Windowsの起動中や終了中
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・赤外線通信をしているとき(赤外線通信用のアプリケーションソフト実行中)
- ・音声再生中
- ・動画再生中
- ・フロッピーディスクアクセス中
- ・ハードディスクアクセス中
- ・通信用のアプリケーションソフト実行中
- ・PC-9801-106またはPC-9801-119以外の外付けキーボードを使用しているとき
- ・サスペンド機能に対応していないアプリケーションソフトを使用しているとき
- ・サスペンド機能に対応していないPCカード(他社製LANカード、他社製SCSIカード、他社製フラッシュメモリカードなどを使用しているとき
- ・16ビットPCカードサポートを使用しているとき( GP.73 )
- ・シリアル通信中

#### サスペンド処理中の注意

- ・フロッピーディスクやPCカードの入れ替えなど、本機の環境を変更しないでください。 サスペンドできなくなります。
- ・サスペンド処理中にキー入力すると、レジュームしたときそのキー入力が実行されてし まうことがあります。このような場合は、何かキーを押すと中断させることができます。

#### サスペンド状態のときの注意

- ・サスペンド状態のときに機器構成を変更すると、レジュームできなくなることがあります。
- ・サスペンド状態のときに電源スイッチをスライドさせても本機の状態は変わりません。

#### こんなときはサスペンドしたデータが消えてしまいます

#### ・ACアダプタが未接続でバッテリが消耗したとき

・98NOTEメニューを起動したとき

#### レジューム処理中の注意

フロッピーディスクやPCカードの入れ替えなど、本機の環境を変更しないでください。レジュームできなくなります。

#### 「RESUME FAILURE」とは

サスペンド/レジュームに対応していないアプリケーションソフトを使用している最中にサ スペンドしたとき、レジューム後に「RESUME FAILURE」と表示されることがありま す。これは、レジューム処理がうまくいかなかったことを表すメッセージです。このような場 合は、本機が自動的に再起動され、ファイルに保存されていないデータは失われます。 このようなアプリケーションソフトを使用しているときは、サスペンド/レジューム機能を使わ ないでください。

## ハイバネーション機能

電源OFFと同時に実行中の作業の内容をハードディスクに自動的に保存することを「ハイバネーション状態にする」といいます。

サスペンドと異なり、バッテリが消耗してもデータの消失の心配はありません。





- 本機をバッテリ駆動で使用しているときにハイバネーションを使用するように設定しておくと、バッテリの容量がなくなったときに自動的にハイバネーション状態になります。バッテリの容量がなくなってデータが消えてしまわないよう、バッテリ駆動時にはハイバネーション機能を使用するように設定しておくことをおすすめします。
  - ハイバネーション機能は、本機にインストールされているWindows 95でのみ使用できます。市販のWindows 95では使用できません。
  - 市販のWindows 3.1とMS-DOS 6.2でハイバネーション機能を使うにはOSのア ップグレードが必要です(ご『再セットアップガイド』)。

## ハイバネーションを使えるように設定する.....

ハイバネーション パイバネーション 機能を使うには、あらかじめ「Hibernation設定ユーティリティ」での設 定が必要です。

「Hibernation設定ユーティリティ」では、ハードディスク内にハイバネーションのための 空き容量があるかどうかをチェックし、ハイバネーション時にデータを保存するための一 時待避ファイルを作成することができます。



Hibernation設定ユーティリティはMS-DOSモードで起動します。Windows 95の[MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは実行することはできません。必ず次 の手順で操作してください。



- [スタート」ボタン [Windowsの終了 ]の順にクリックします。
- 2
  - [MS-DOSモードでコンピュータを再起動する」をクリックします。
- 2 [はい)ボタンをクリックします。

キーボードから次のように入力します。

HIBER 🕗

5 次の画面が表示されたら、キーボードの↑↓を押して反転表示を 「Hibernationを使用するに設定する」に移動します。



G.

괻 を押します。



ハードディスクの空き容量が不足しているというメッセージが表示されたときには、画面の指示に従ってハードディスクの空き容量を確保したあと、手順1からやりなおしてください。必要なハードディスクの空き容量の目安は「本機に搭載されているメモリ容量+1Mバイト」です。

その他のエラーメッセージが表示された場合は、それぞれ画面の指示に従って処置したあと手順1からやりなおしてください。



次の画面が表示されたら、キーボードのキーをどれか押します。



Hibernation設定ユーティリティが終了します。
本機の機能について

各本機の電源をOFFにして、5秒以上間隔をあけてから再度電源をONにします。

これでハイバネーション機能が使えるようになります。

ハイバネーション状態にする.....

ハイバネーション状態にするには	電源スイッチをスライドさせます(Windowsを
	終了させる必要はありません)。
もとの状態に戻すには	電源スイッチをスライドさせます。



- ・電源の0N/0FFを連続して行うと、本機の負担になります。電源の0N/ 0FFは、電源ランプが消灯してから少なくとも5秒以上の間隔をあけて行っ てください。
- Windowsの[コントロールパネル][パワーマネージメント][電源のプロパティ][パワーマネージメント]で、[Windowsでコンピュータの電源管理をする]を「(オフ)に設定しているときには、ハイバネーション状態にすることはできません。
- ・Windows95のMS-DOSモードではハイバネーション機能は使用できま せん。MS-DOSモードで電源スイッチをスライドすると、ハイバネーション が実行されずに電源が0FFになってしまうので注意してください。
- ・サスペンドスイッチを押しながら同時に電源スイッチをスライドさせたときには、ハイバネーション状態になりません。
- ハイバネーション機能が設定されていない状態で電源スイッチをスライドさせると、Windowsを終了してよいかどうか確認のメッセージが表示されます。

## ハイバネーション状態にするときの注意.....

### こんなときはハイバネーションしないでください

- Windowsの起動中や終了中
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・赤外線通信をしているとき、赤外線通信用のアプリケーションソフト実行中)
- ・音声再生中
- ・動画再生中
- ・フロッピーディスクアクセス中
- ・ハードディスクアクセス中
- ・通信用のアプリケーションソフト実行中
- ・カスタム再セットアップを実行し、「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/ N)」で「Y」を選んだとき
- ・PC-9801-106またはPC-9801-119以外の外付けキーボードを使用しているとき
- ・ハイバネーション機能に対応していないアプリケーションソフトを使用しているとき
- ・ハイバネーション機能に対応していないPCカード(他社製LANカード、他社製SCSI カード、他社製フラッシュメモリカードなどを使用しているとき
- ・16ビットPCカードサポートを使用しているとき
- ・シリアル通信中

▶ ハイバネーション機能の有効/無効を表示する\_\_\_\_

次の設定をしておくと、次にWindowsを起動したときにハイバネーション機能が有効か無効かを表示 させることができます。



- 【 スタート 】[ 設定 】[ コントロールパネル ]の順にクリックし、[ ハイバネーション アイコン を ダブルクリックします。
- 2 [ハイバネーション機能の有効/無効を表示する ]のチェックボックスをクリックして !!! オン )にします。
- 3 [OK 」ボタンをクリックします。

### こんなときはハイバネーションしたデータが消えてしまいます

98NOTEメニューを起動したときはハイバネーションしたデータが消えてしまいます。

#### ハイバネーション処理中の注意

- フロッピーディスクやPCカードの入れ替えなど、本機の環境を変更しないでください。
   ハイバネーションができなくなります。
- ・ハイバネーション処理中にキー入力すると、次回電源ONしたときそのキー入力が実 行されてしまうことがあります。 このような場合は、何かキーを押すと中断させることができます。

### ハイバネーション状態のときの注意

ハイバネーション状態のときに機器構成を変更すると、データを復元できなくなることがあ ります。

#### データ復元中の注意

フロッピーディスクやPCカードの入れ替えなど、本機の環境を変更しないでください。デ ータを復元できなくなります。

#### こんなときは再設定が必要です

次のようなときはHibernation設定ユーティリティでの再設定が必要です。

- ・ RAMボードの取り付け/ 取り外しをしたとき
- ・再セットアップを実行したとき
- ・ハードディスクからハイバネーション用の一時待避ファイルを削除したとき

## ハイバネーション機能の有効/無効を切り替える..

ハイバネーション機能を無効にする

ハイバネーション機能を無効にするにはHibernation設定ユーティリティで設定しま す。ただし、Windowsでハイバネーション機能を使用しているときには、Hibernation 設定ユーティリティを起動しなくても、ハイバネーション機能を無効にすることができます。

- Windowsでハイバネーションの有効/無効を切り替える
  - 【 スタート ボタン [ 設定 ] [ コントロールパネル ]の順にクリックし、[ ハイバネーション アイコン 記をダブルクリックします。
  - 2 次のような画面が表示されたら、「Windows95上でハイバネーション機能を有効 にする」のチェックボックスをクリックして有効/無効を切り替えます。





ハイバネーション機能が有効に設定されていない場合はこのチェックボックスは選択 できない状態になっています。



[OK ボタンをクリックします。

# 省電力機能

バッテリ駆動時に省電力機能を設定しておくと、何も設定されていないときに比べて駆動時間を延ばすことができます。 本機で設定できる省電力機能には次のようなものがあります。 ・CPUの節電 ・ディスプレイの節電

・ハードディスクの節電

CPUの節電 .....

「CPU自動停止」とCPUの速度調整」の二種類の省電力機能があります。

#### CPU自動停止

ポインティングデバイスやキーボードからの入力がなく一定時間が経過すると、自動的に CPUを停止する機能です。何か作業をすると自動的にCPUが動くようになります。 この機能を使うには、98N0TEメニューまたは98N0TEメニューユーティリティの 「CPU自動停止」で設定が必要です( ③P.109 )。

#### CPUの速度調整

CPUのクロック速度を制限する機能です。 クロック速度を遅くするとコンピュータの処理速度が遅くなり電力が節約されます。 この機能を使うには、Windowsのコントロールパネルでの設定が必要です。この機能 は、バッテリ駆動時にのみ有効です。



Card Bus対応のPCカード使用時にはWindowsのCPU速度は100%にしておいてください。

「CPUの速度調整」の設定のしかた

- ◀ [スタート ボタン-[設定 ][コントロールパネル ]の順にクリックします。
- 2 [パワーマネージメント アイコン 覚をダブルクリックします。
- 3 [SLエンハンスドオプション ボタン SLエンハンスドオプション ボタン SLエンハンスドオプション ボタン SLエンハンスドオプション ボタン SLL をクリックします。

[SLエンハンスドオプション」が表示されます。

▲ [CPU速度]の欄で速度を選び[OK]ボタンをクリックします。

sLエンハンスドオラション - CPU速度( <u>C</u> ) 100%	× SC *>>tzil	ーーーーーここでCPUの速度を選びます。
手動中断		
<ul> <li>◎ 直 らに 甲断(<u>1</u>)</li> <li>○ アイドル状態まで待つ(<u>D</u>)</li> </ul>	■ FF ムリック Châte(M) □ 日付/時刻で指定(T)	
自動中断	日付	
<b>□?分後(<u>A</u>):</b> □ <b>●</b> 分 ■ アイドル状態まで待つ( <u>U</u> )	- 時刻	

ディスプレイの節電 .....

本機の液晶ディスプレイやパワーマネージメント対応のCRTディスプレイでは、次のよう なディスプレイの節電機能が利用できます。

液晶ディスプレイ自動停止

ポインティングデバイスやキーボードからの入力がなく設定時間が経過すると、自動的に 液晶ディスプレイの表示が真っ暗になり、節電モードになる機能です。何か作業をすると もとに戻ります。

この機能は、98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの「液晶ディス プレイ自動停止」で設定します(ごP.108)

この機能は別売のディスプレイでは使えません。

本機の機能について

#### 低電力スタンバイ

ポインティングデバイスやキーボードからの入力がなく設定時間が経過すると、自動的に ディスプレイの表示が真っ暗になり、節電モードになる機能です。何か作業をするともと に戻ります。パワーマネージメント対応の別売のディスプレイでも使えます。 この機能は、Windowsのコントロールパネルで設定します。

電源断

ポインティングデバイスやキーボードからの入力がなく設定時間が経過すると、自動的に ディスプレイの電源がオフになる機能です。

本機の液晶ディスプレイの場合は、何か作業をするともとに戻ります。別売のディスプレイの場合は、再度ディスプレイの電源をオンにしなおす必要があります。この機能は、 Windowsのコントロールパネルで設定します。

### 「低電力スタンバイ」と「電源断」の設定のしかた

【スタート ボタン [ 設定 ][ コントロールパネル ]の順にクリックし、[ 画面 アイコン ●をダブルクリックします。

[画面のプロパティ」が開きます。

2 [スクリーンセーバー 沙ブをクリックします。



3 [OK ボタンをクリックします。

27

## ハードディスクの節電 .....

「内蔵ハードディスク自動停止」、「ディスクドライブの省電力モード」の二種類の省電力機 能があります。

内蔵ハードディスク自動停止

ポインティングデバイスやキーボードからの入力がなく設定時間が経過すると、自動的に ハードディスクを停止する機能です。何か作業をするともとに戻ります。この機能は Windows 95以外のOSで本機を利用するときに設定できます。

この機能は、98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの「内蔵ハード ディスク自動停止」で設定します( @P.108)

ディスクドライブの省電力モード

ポインティングデバイスやキーボードからの入力がなく設定時間が経過すると、自動的に ハードディスクのモータを停止する機能です。何か作業をするともとに戻ります。 この機能は、Windowsのコントロールパネルで設定します。

- 「ディスクドライブの省電力モード の設定のしかた
  - メントアイコンジョをダブルクリックします。

  - [ディスクドライブ 」タブをクリックします。

世界のプロパディ  アーズキープジンド ディスクドライフド PC-カード モデム  アーブー マキープジンド ディスクドライフド PC-カード モデム  アーズクトライフ を省電力モートにこ切り替えるまでの待ち時間:	
「 電源が AO 電源の場合(P): 30 当 分     「     「 電源が N カ アーの場合(B): 3 当 分     」	本機の電源をACコネクタから 取っているとき、ハードディスク のモータを停止させるまでの時 間を設定します。
OK         キャンセル         更新(点)	本機の電源をバッテリから取っ ているとき、ハードディスクの モータを停止させるまでの時間 を設定します。



本機をWindows 95で使うときには、98NOTEメニューまたは98NOTEメニ ューユーティリティの「内蔵ハードディスク自動停止」は設定しないでください。

# セキュリティ機能

セキュリティ機能は、本機の不正使用やデータの盗難を防止するための機能です。 ただし、セキュリティ機能を設定してあっても「絶対に安全」ということはありません。重要 なデータなどの取り扱いには十分ご注意ください。

### パワーオンパスワード

本機起動時にパスワード入力画面を表示する機能です。 パスワードを知らない人が無断で本機を使用するのを予防することができます。 パワーオンパスワードは98NOTEメニューの「パワーオンパスワード」で設定します (③P.111)。

### セットアップパスワード

98NOTEメニュー起動時にパスワード入力画面を表示する機能です。

パスワードを知らない人が無断で98NOTEメニューの設定を変更するのを予防することができます。

セットアップパスワードは98NOTEメニューの「セットアップパスワード」で設定します ( ③P.112 )。

#### 1/0ロック

シリアルインターフェイス、赤外線通信機能、プリンタ、フロッピーディスクドライブを使用不可に設定する機能です。

プログラムやデータの不正流出を予防することができます。

I/0ロックは98N0TEメニューの「セキュリティの設定」のそれぞれの項目で設定しま す( ③P.115 )。



I/0ロックを使用するときには必ずセットアップパスワードを設定してください。

- I/0ロックはWindows3.1、Windows95、WindowsNT3.51/4.0、0S/2
   にのみ対応しています。
- ・MS-DOS用のアプリケーションソフトではI/0ロック機能は使えません。

#### セキュリティ機能の使用例

利用者以外が本機の設定を管理したい場合

日常的に本機を使用する人とは別の人が本機の設定を管理したい場合、はじめに管理者がセットアップパスワードとパワーオンパスワードの両方を設定しておき、パワーオンパ

スワードのみを各利用者に通知します。この設定により、管理者以外が98NOTEメニュ ーの設定を変更することができなくなり、管理者と利用者以外は本機の起動ができなく なります。

利用者自身が本機の設定を管理したい場合

日常的に本機を使用する利用者が98NOTEメニューの設定も自由に行いたい場合、 利用者がパワーオンパスワードとセットアップパスワードの両方を設定します。この設定に より、利用者以外は本機を起動したり98NOTEメニューの設定を変更したりできなくな ります。

### パワーオンパスワード設定時の電源のON.....

パワーオンパスワードを設定している場合は、本機の電源スイッチをスライドさせると電源 ランプが点灯し、次のような画面が表示されます。





キーボードから、設定されているパスワードを入力します。

パスワードの入力中にキーボードの BS を押しても、文字を修正することはで きません。



パワーオンパスワードとセットアップパスワードの両方が設定されているときには、ど ちらのパスワードを入力しても本機を起動することができます。

2 キーボードの 🖉を押します。

正しいパスワードが入力されると、メモリチェックのあとWindowsが起動します。



- ・ 誤ったパスワードが入力されると「パスワード不一致」と表示されます。 正し いパスワードを入力してください。
- ・パスワードの入力に3回失敗するどパスワードエラー」と表示され、「ピー」 という警告音の後、自動的に電源が0FFになりますので、最初からやり直 してください。



 パスワード設定中にハイバネーション状態にしたときも、上記と同じ手順で本機を 起動してください。
 正しいパスワードが入力されると、保存されていた内容が復元されます。

# パワーオンパスワード設定時のレジューム ....

パワーオンパスワードを設定しているときにサスペンド状態にした場合には、サスペンドス イッチを押すと電源ランプが点灯し、「ピッピッピッ」と警告音が鳴ります。画面には何も表 示されません。





パスワードの入力中にキーボードの BS を押しても、文字を修正することはで きません。



パワーオンパスワードとセットアップパスワードの両方が設定されているときには、ど ちらのパスワードを入力してもレジュームすることができます。

2 キーボードの足」を押します。

正しいパスワードが入力されるとレジュームされ、サスペンドの内容が表示されます。



- ・ 誤ったパスワードが入力されると、「ピーピッピッ」と警告音が鳴ります。正し いパスワードを入力してください。
- ・パスワードの入力に3回失敗すると、「ピー」という警告音のあと、自動的に サスペンド状態に戻りますので、最初からやり直してください。

# 赤外線通信機能

赤外線通信とは、ケーブルを接続せずに赤外線でデータの交換を行う通信方法です。 本機では、IrDA SIR Data Link Std.に準拠した赤外線通信ができます。本機には、赤 外線通信用のアプリケーションソフト「TranXit」がインストールされています。 赤外線通信を行うには、次の各設定が必要です。

### 赤外線通信機能を使えるように設定する .....

- 98NOTEメニューを起動します( GP.94 )。
- 2 「入出力デバイスの設定」の「赤外線通信機能」を(使用する)にします(ごP.110) また、「セキュリティの設定」の「赤外線通信機能」/0ロック」が(設定する)になっているときには、設定しない)にしてください。
- 3 98NOTEメニューを終了します( ③P.101 )。

Windowsが起動します。

- \_ [スタート」ボタン [設定][コントロールパネル」の順にクリックします。
- **5** [コントロールパネル]にある システム アイコン 二をダブルクリックします。

[システムのプロパティ]ウィンドウが表示されます。

6 [デバイスマネージャ ) アブをクリックした後、[ポート(COMとLPT)]の[FIR (NAFIRL001) をダブルクリックします。



7 [情報 汐ブの「デバイスの使用」の「このハードウェア環境で使用不可にする」チェックボックスをクリックして <u>「(</u>オフ)にし[0K]ボタンをクリックします。

- 日本記動するようメッセージが表示された場合は再起動してください。メッセージが 表示されない場合は、システムプロパティ ウィンドウの、閉じる ボタンをクリックします。
- 📮 🛛 コントロールパネル ]にある システム アイコン 💻 をダブルクリックします。

[システムのプロパティ]ウィンドウが表示されます。

**10** [デバイスマネージャ 汐ブをクリックした後、[ポート( COMとLPT )]の前の 王をク リックし[ FIR( NAFIRL001 )]が接続されているCOM ポートを確認します。



確認がすんだら[ OK ]ボタンをクリックします。

- **11** [スタートボタン [プログラム][TranXit][TranXit]の順にクリックします。 TranXitが起動します。
- 12「セットアップ」メニューの「接続設定」をクリックします。
- **13** [接続の設定 ボタンをクリックし、[赤外線デバイスの設定 ウィンドウでポートリスト から[FIR(NAFIRL001))が接続されているCOMポートを選択し、[OK ボタ ンをクリックします。

	赤外線デバイスの設定	×
ポートリストーー	ボート(P) COM2 モデル(M) NEC Fast Ir モ-ト*(O) ボ High Speed ▼ 4 アドッハ*ンス** 設定	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	^^2 1/0 #^-+?F`LZ( <u>A</u> ): IRQ(] <b>288</b>	(): 

▲ [接続の設定 ウィンドウで[OK ボタンをクリックします。



異なる機器との通信には、両装置間の通信に対応したソフトウェアが必要です。 TranXit以外の通信ソフトウェアを使用する場合は、使用するソフトウェアのマニュ アルをご覧のうえ設定してください。



バッテリのみで本機を使用中に赤外線通信機能を利用する場合は、通信を行う前にWindowsでCPU速度を100%に設定してください(③P.26)。この操作を行わずに赤外線通信すると、本機の動作が停止し、データが失われる場合があります。

## 機器の配置について .....



本機で赤外線通信を行う場合には、通信を行う機器を次の範囲内に配置してください。

- ・互いの機器の赤外線通信ポートが真正面に向き合うようにしてください。
- ・互いの機器の赤外線通信ポートの距離を約1m以内にしてください。

通信相手の機器が本機の通信可能範囲内にあっても、次のような場合には通信できま せん。

通信相手機器の赤外光が本機に届かない



通信相手機器の通信可能距離が本機より短い



このようなときは、お互いの赤外線通信ポートを真正面で向きあわせ、できる限り近くに 置いてください。

なお、このとき装置どうしは接触させないようにしてください。 この他の注意事項については、通信相手機器のマニュアルをご覧ください。



・ 赤外線通信ポートを汚したり、傷つけたりしないように注意してください。

- 本機の赤外線通信ポートの指向性としては約15度程度の余裕がありますが、この 角度が広くなるにつれ、通信可能距離は短くなります。
- ・ 互いの機器どうしを接触させないようにしてください。
- ・ 通信相手機器と本機の間に物を置かないでください。
- 次のようなときには通信可能距離が短くなることがあります。
   直射日光や蛍光灯の直下
   異なる機器との接続時(相手の機器の性能に依存します)
   機器どうしが正しく向き合っていないとき
   他の赤外線通信機器の近く
   ノイズを発生する機器の近く
   通信相手機器がIrDA規格に準拠していない場合

# サウンド機能

本機には次のようなサウンド機能が搭載されています。 ・PCM録音 / 再生機能 ・FM音源機能 ・MIDI音源機能

音量を調節する .....

スピーカのボリュームを最小にしていると、各種の警告音が鳴りません。スピー カのボリュームはなるべく最小にしないでください。

### 音量調節つまみで音量調節する

本機の音量調節つまみを奥へまわすと音が大きくなり、手前にまわすと小さくなります。 この方法で内蔵スピーカやヘッドホンの音量を調節できます。



#### Windowsで音量調節する

Windowsのボリュームコントロールでは、内蔵音源を通じて再生される音量や、内蔵 音源を通じて録音するときの入力レベルを調整することができます。[スタート ボタン [プログラム][アクセサリ][マルチメディア][ボリュームコントロール]の順にクリック します。

[ボリュームコントロール]の画面が表示されます。



#### 項目ごとの音量調節

ボリュームコントロールでは、項目ごとの音量調節が可能です。

ボリュームコントロールの画面で オプション ] 「プロパティを選び、「録音 || 再生 || その 他 のどれかを選ぶと、それぞれの機能で調整可能な項目のみがボリュームコントロール の画面に表示されるようになります。

項目名	音量の調整の種別		種別	機能	
	再生	録音	その他		
ボリュームコントロール				スピーカシステムから出力されているすべての音 量を調整します。	
Compactdisc				CDから出力される音量を調整します。	
WAVE				WAVEデータなどのPCM音源を使用して出力される音量を調整します。	
FMSynthesizer				FM音源 YMF715互換FM Synthesizer を使 用して出力される音量を調整します。	
ライン入力				オーディオ入力端子に接続されている機器から入 力される音を、スピーカから出力するとき、または録 音するときの音量として調整します。	
マイク				マイクロホン端子に接続されているマイクロホンか ら入力される音を、スピーカから出力するとき、また は録音するときの音量として調整します。	
Television				TVから出力される音量を調整します(本機では使 用できません )。	
Telspeaker				FAXモデムボードから入力される音を、スピーカから出力するときの音量として調整します(本機では使用できません)	
Auxiliary				AUX(TV,CD)から出力される音を録音するとき の音量を調整します。	
ループバック				スピーカシステムから出力されているすべての音を 録音するときの音量を調整します。	
Wide Stereo				スピーカシステムから出力されている音のワイドス テレオ効果を調整します。	

:選択可能

別売のCD-ROMドライブ接続時のみ有効です



ディスプレイの解像度が640×480ドットなどの低解像度の場合、ボリュームコント 10-ルですべての音源コントロールが表示されない、または右端の音源コントロー ルの表示が一部欠ける場合があります。この場合には、ディスプレイの解像度を変 更するか、プロパティ(ボリュームコントロールの[オプション]メニューで選択しま す)の【表示するコントロール」で、使用しない音源の選択を解除し、必要なコントロ ールが表示されるよう変更してください。 なお、ボリュームコントロールの表示が一部欠けた状態で解像度の切り替えを行っ

ても、ボリュームコントロールの表示は変更されません。一度、ボリュームコントロー

ルを終了し、再度ボリュームコントロールを起動してください。

#### トーンを調整する

本機には、トーン調整機能が内蔵されています。Windows 95では次の手順でトーン調整を行うことができます。

【 スタート ボタン [ プログラム ] [ アクセサリ] [ マルチメディア ] [ ボリュームコント ロール ]の順にクリックします。

[ボリュームコントロール]ウィンドウが表示されます。

2 [ボリュームコントロール]の全ミュートの下に[トーン]ボタンが表示されていない場合は、[オプション]メニューの[トーン調整]をクリックします。

[トーン ボタンが追加されます。

3 [トーン ボタンをクリックします。

[ボリュームコントロールの詳細設定 ウィンドウが表示されます。

▲ [トーン調整 ]ウ[低音 または、高音 ]のコントロールバーをドラッグします。

[低音 ]のコントロールバーをドラッグすると低音を、[高音 ]のコントロールバーをドラッグすると高音を調節することができます。

ቱሣューム コントロ	ールの詳細設定				×
Ť.	好みのサウントえ	設定してください。			
ートーン調整・					
オーディオ	のサウント・トーンを	周整します。			
低音( <u>B</u> )	低		,	高	
高音( <u>T</u> ):	低	Ţ <u></u>		高	
					閉じる

低音も高音も「高」の方にドラッグすると強調されます。

- **5** 設定が終わったら、[閉じる」ボタンをクリックします。
- [ボリュームコントロール]ウィンドウの ×をクリックします。

ウィンドウが閉じます。

本機の機能について

## サウンドデバイスの切り替え .....

MIDI 音源を使うには

MIDI音源(入力/出力)を使うには、次のように設定します。



どのMIDI音源が使用可能かは、[コントロールパネル]の[デバイスマネージャ]の画面で確認できます。赤い×マークがついているのが使用できないMIDI音源です。

- 「PCI-1131 Card Bus Controller PCIステアリング用IRQホルダー」の割り込みレベルをIRQ10から他の割り込みへ移します。詳しい方法についてはWindowsのヘルプをご覧ください。
- 2 98NOTEメニューを起動して「MIDIの割り込み」の設定を使用する音源によって次のように設定してください。

使用する音源	98NOTEメニューの設定		
MIDI入出力(MIDI IN/OUT)	{使用する}		
MIDI出力(MIDI OUT)のみ	{使用しない}		

- 3 98NOTEメニューを終了してWindows 95を起動します。
- ⊿ [スタート」ボタン [設定][コントロールパネル]の順にクリックします。
- 「「 [システム アイコン 二をダブルクリックします。
- [デバイスマネージャ アブをクリックします。
- 「サウンド、ビデオおよびゲームコントローラ をクリックします。
- [YMF715互換MPU4010ut または YMF互換MPU401 がある場合は 削
   除 ボタンをクリックし、画面の指示にしたがってドライバを削除します。
- [更新」ボタンをクリックします。

自動的にドライバが組み込まれます。

これでMIDI音源が使えるようになります。

## サウンド機能利用上の注意 ......

本機では、内蔵のサウンド機能、または別売のPCカードを増設して、Windows 95上でマルチメディア機能を利用することができます。

利用できるマルチメディアの各機能、必要な周辺機器について次の表に示します。

ウェーブフォームデータの録音、再生	
MIDIデータの再生	注1
MIDIデータの録音	注2

:本体内蔵のサウンド機能で利用できます。

:オプション機能の増設で利用できます。

注1: FM音源での再生およびソフトウェアMIDIによる再生が可能です。

注2: 外部 MIDI 音源\*を使用する場合はMIDI / JOYSTIC 変換ケープルA/B( PC-9821N-K07, PC-9821 N-K08 をプリンタコネクタに接続することにより、利用できます。

\*外部MIDIデータ音源は、GENERAL MIDI規格対応音源の使用を推奨します。



・ MIDIデータの録音を行うには、別途アプリケーションソフトが必要です。

- ・ MIDIデータの再生をFM音源で行う場合、同時に再生できる音の数が限られているため、再生できないデータがあります。
- ・ MIDIデータの再生をFM音源で行う場合、外部MIDI音源をつないだ場合よりも音 質が悪くなります。
- 淡色表示されているコントロールは、ハードウェアにその機能がないため使用できません。
- ・内蔵のFM音源でMIDIデータを再生する場合、外部MIDI音源をつないだ場合に 比べ、音質が劣ります。また、同時に再生できる音の数が限られるため、再生できな いデータもあります。
- ・[ CDプレーヤー などでオーディオCD再生中に、[ コントロールパネル ] [ マルチメ ディア ]の[ 音楽CD ]で音量を変更した場合、次回[ CDプレーヤー を起動したとき から変更が有効になります。
- ディスプレイの解像度が640×480ドットなどの低解像度の場合、ボリュームコントロールですべての音源コントロールが表示されなかったり、右端の音源コントロールの ー部が欠けて表示されたりすることがあります。このような場合はディスプレイの解 像度を800×600ドット以上にするか、ボリュームコントロールの[オプション][プロ パティ]の[表示するコントロール]で使用しない音源を表示させないようにして必要 なコントロールが表示できるようにしてください。 なお、ボリュームコントロールの表示が一部欠けた状態で解像度を切り替えた場合 は、一度ボリュームコントロールを終了してから再起動すると正しく表示されるように なります。

・ボリュームコントロールで「ボリュームコントロール」および「Wide Stereo」のボリュ ームを最大にしているときには内蔵スピーカから出力される音がひずむことがあり ます。このような場合は音量を下げてください。 画面上に表示できる文字や図形の情報量を表すものを「解像度」といいます。本機の液 晶ディスプレイでは標準で次の解像度と表示色を表示できます。

### 

解像度	表示色	Windows 95	M S D O S *1
640×400ドット*2	4,096色中16色	-	
	4,096色中256色	-	
640×480ドット	4,096色中256色		

: 表示可(本機の液晶ディスプレイと別売のCRTディスプレイの同時表示が可能。液晶ディスプレイでは画面のまわりが黒く表示されます。)

- : 表示不可

表示機能

\*1: Windows 95のMS DOSモードおよびMS-DOS6.2でサポート

\*2: 水平走査周波数を31kHzに設定している場合、CRTディスプレイにのみ表示可能です。

また、内蔵のウィンドウアクセラレータ機能により、Windowsでは標準で次の解像度と 表示色を表示できます。

解像度	表示色	本機の液晶ディスプレ イと別売のCRTディス プレイの同時表示 <sup>*1</sup>	別売のCRT ディスプレイ のみに表示	テレビ、ビデオ等 のみに表示
640×480ドット	26万色中256色	*3		
	65,536色			
	1,677万色			
800×600ドット*2	26万色中256色		*5	×
	65,536色		*5	×
	1,677万色		*5	×
1,024×768ドット*⁴	26万色中256色			
	65,536色	×		×
1,280×1,024ドット*4	26万色中256色	×	*5	×

:画面のまわりが黒く表示されます(Windows 95では密度変換機能でフルスクリーン表示可能) :フルスクリーンで表示可能

× :表示不可

\*1:本機にCRTディスプレイが接続されてないときには、液晶ディスプレイにのみ表示可能

- \*2:ご購入時の解像度です。
- \*3:800×600ドットの解像度に対応していないCRTディスプレイや液晶プロジェクタで液晶ディスプレイとの 同時表示をするには、「プロジェクタと液晶ディスプレイを同時表示にする(ごアP.80)の手順でディスプ レイアダプタを変更する必要があります。
- \*4: 別売のCRTディスプレイ接続時のみ表示可能です。 この解像度を選択したまま本機の電源をOFFにしてCRTディスプレイを取り外すと、次に電源をONに したときにはメッセージが表示されます。この場合は800×600ドット以下の解像度に設定しなおしてか らWindowsを再起動してください。
- \*5: リフレッシュレートは、CRTディスプレイにより60Hz/75Hzを選択できます。

本機の機能について



320×200ドットおよび320×240ドットの解像度対応のアプリケーションソフトなど このようなときには、Windows 95の密度変換機能でフルスクリーン表示が可能です。 また、320×200ドットおよび320×240ドットの解像度はテレビにのみ表示することも できます。

# 解像度と表示色を変更する

[スタート」ボタン [設定][コントロールパネル]の順にクリックします。

[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

[画面 アイコン 郹 をダブルクリックします。 2

「画面のプロパティウインドウが表示されます。

「ディスプレイの詳細 やブをクリックします。 3





 ・ 解像度の変更

解像度を高解像度に設定する場合は、「 デスクトップ領域 ひつまみを「大」の 方向ヘドラッグしてずらします。低解像度に設定する場合は、つまみを「小」の 方向ヘドラッグしてずらします。

表示色の変更

表示色を変更するには、[カラーパレット]の欄で選択します。カラーパレットの 選択一覧には、使用している液晶ディスプレイとディスプレイアダプタが対応 しているカラーパレットが一覧表示されています。

┌ カラー パレット( <u>©</u> ) ─────	
256色 🔽	┌── 65,536色のことです。
High Color (16 Ľット)	 1,677万色のことです。

**5** 設定が終了したら、[ OK ]ボタンをクリックします。

この後は画面の指示に従ってください。

解像度を640×480ドットの通常表示モードにすると、本機の液晶ディスプレイでは画面が中央に表示され、上下左右に黒い部分ができます。このようなときにはWindowsの密度変換ユーティリティで画面の大きさを大きくすることができます(CP-.88)。



#### 密度変換

本機の液晶ディスプレイでは最大で横800ドット、縦600ドットが表示できます。640×480ドットの解像度 を選択したときには、液晶ディスプレイのドット数のうち選択したドット数のみを使って画面が表示される ため、800×600ドットの解像度を選択したときにくらべ、表示される画面の大きさが小さくなります。 密度変換機能を使うとこのような解像度のときでも画面が大きく表示されます(『ア-88)。





接続できる周辺機器

周辺機器を利用する前に

プリンタを使う

メモリを増やす

PCカードを使う

ディスプレイ/プロジェクタを使う

MIDI対応機器/ジョイスティックを使う

入力装置を使う

(マウス・キーボード・テンキーボード)

オーディオ機器を使う

シリアル対応機器を使う



周辺機器を使う

## 周辺機器の取り付け/取り外しの注意 .....

- ・サスペンド状態やハイバネーション状態のときには機器の取り付け/取り外しをしないでください。サスペンド状態やハイバネーション状態のときに機器の取り付け/取り外しをしたいときには、保持されているデータを復元させて保存してから本機の電源をOFFにし、取り付け/取り外しを行ってください。
- ・プリンタ用コネクタには、プリンタケーブルとMIDI/JOYSTICK変換ケーブル以外 のケーブルを接続しないように注意してください。



- 別売の周辺機器を取り付けるときには、周辺機器が本機に対応していることを確認してください。また、周辺機器によっては使用上の制限事項がある場合があります。周辺機器の説明書などをよくご覧のうえ使用してください。当社製以外の周辺機器を使用する場合は、機器の製造元または発売元などに上記の事項を確認してください。
  - ・ 周辺機器の取り付け/取り外しは取扱説明書にしたがって正しく行ってください。

## 

周辺機器によっては、専用のケーブルが必要な場合があります。接続する前に用意して ください。詳しくは、「オプション品一覧をご覧ください( ③P.149)。

# 周辺機器を利用する前に

本機に周辺機器を接続して利用する際は次のことを確認してください。

## 周辺機器用のドライバ .....

周辺機器を使うためには、それぞれの機器専用のプログラムが必要です。 このプログラムのことを「ドライバ」といいます。

Windowsの「プラグ&プレイ機能」に対応している周辺機器を使うときには、機器を接続してWindowsを起動すると自動的にドライバの設定が行われ、機器が使用可能な 状態になります。

Windowsの「プラグ&プレイ機能」に対応していない周辺機器を使うときには、機器を 接続したあとドライバの設定が必要な場合があります。

ドライバの設定について詳しくはREADMEファイルもしくはそれぞれの機器のマニュアルをご覧ください。



- ドライバが正しく組み込めなかった場合は、周辺機器が使えないばかりか、本機の 動作が不正になることもあります。その場合は、周辺機器のマニュアルに従って、 正しくドライバを組み込んでください。
- ・ READMEファイルの読み方については 困ったときにお読みください 』をご覧ください。

サウンドドライバについてのご注意

現在インストールされているサウンドドライバは最新のバージョンのものです。以前のバージョンのドライバを上書きしないようにしてください。

しかしアプリケーションソフトによっては、インストール中にサウンドドライバが以前のバージョンへ置き換わってしまう場合があります。

再起動中に下記のようなエラーが表示されて起動できない場合は、[閉じる」ボタンをク リックしてください。その後、次の手順に従ってドライバをアップデートしてください。



- Windows 95を終了し、Safeモードで本機を再起動、電源をONにして「Windows 95を起動しています」のメッセージが表示されている間に「f·8」キーを押す」させます。
- 2 [スタート]メニューから[設定]を選択し、[コントロールパネル]を開きます。
- 3 [コントロールパネル ]か[システム アイコンをダブルクリックし、[システムのプロパティ を表示させます。
- 「デバイスマネージャ タブをクリックします。
- 「「 [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ をダブルクリックします。

[YMF715互換 Sound System(拡張FMのみ)が表示されます。

[YMF715互換 Sound System(拡張FMのみ)を選択して「プロパティボタンをクリックします。

[YMF715互換 Sound System(拡張FMのみ)のプロパティ]で[ドライバ]タ ブをクリックします。

YMF719万換 Sound System(始終FM0)み)の7面パケイ ? 又 情報 ドライパ リソース
YMF /15 左接 Sound System (北浜特) M(2/05)
80日71. 1949/000
パージョン:「情報なし」
このアガイス用に読み込まれてしいるトライルファイルの詳細を表示するに は、「トライパファイルの詳細を押してください。
<u>「ディルファイルの詳細の</u> 」
ОК



[ドライバの更新 をクリックして デバイスドライバウィザード を表示させます。



9 [一覧からドライバを選ぶ(N)をチェックして 次へ ボタンをクリックします。 10 [デバイスドライバウィザード ]の[完了]ボタンをクリックします。

デハシイス ドライバ ウィザード				
<u>90</u>	ハードウェアの製造元とモテルを選び、[完了] を炒ックするとそのハードウェア用の更新された ドライハガインストールされます。			
	自動的に更新されたドライバを検出する場合は、[戻る]を押してください。			
モデ <sup>ッ</sup> ル(D)				
	/ <u>が</u> 持 Sound System(413(RFM(2)(5)) ↓ 4~ /~1997]			
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>				
	< 戻る(E) 完了 キャンセル			



表示のタイムスタンプは異なることがあります。



¶¶ Windows 95を再起動すると正常に利用できるようになります。

周辺機器に添付されているディスクからドライバのインストールをする 場合のご注意(ドライバの組み込みができない場合)

新たな周辺機器を接続すると[新しいハードウェア ウィンドウが表示され、[デバイスドラ イバウィザード が起動します。 [次へ )ボタンをクリックし、[場所の指定 ウィンドウで周辺 機器に添付されているマニュアルなどに記述されているディレクトリを指定すると、次の ような画面が表示され、[場所の指定 ]ウィンドウに戻ってしまうことがあります。



このような場合は、次の手順でドライバをインストールしてください。

▲ 上記の画面が表示された状態で、[完了]ボタンをクリックします。

[デバイスドライバウィザード]が終了します。

- 2 [スタート ボタン [設定][コントロールパネル]の順にクリックします。
- 😗 [コントロールパネル]か[システム アイコン 💻 をダブルクリックします。

[システムのプロパティ」が表示されます。

- [ デバイスマネージャ タブをクリックします。
- 5 新たに使用する周辺機器は、[その他のデバイス]の下に登録されていますので、 該当するデバイス名を指定します。
- [ プロパティ ボタンをクリックします。
- **7** [ドライバ 」タブをクリックします。
- [ドライバの更新 ボタンをクリックします。

[デバイスドライバウィザード」が表示されます。

[一覧からドライバを選ぶ をクリックして、[次へ ボタンをクリックします。

1 一覧からデバイスの種類を選び、[次へ」ボタンをクリックします。

◀◀ [ ディスク 使用 ボタンをクリックします。

この後は、周辺機器に添付されているマニュアルを参照しながら、画面の指示に従ってください。

周辺機器に添付されているディスクからドライバをインストールする場合のご注意(ドライバの媒体を要求される場合)

プリンタなどの周辺機器に添付されているディスクからドライバをインストールする際、「Windows 95 Disk ×× ラベルの付いたディスクを挿入して OK を押してください」というようなメッセージが表示される場合があります。

この場合は、次のように操作してください。

[ファイルのコピー元 を入力する画面が表示されます。

2 次のように入力します。

A:¥Windows¥OPTIONS¥CABS

3 [OK ボタンをクリックします。

この後は、周辺機器に添付されているマニュアルを参照しながら、画面の指示に従ってください。

### 本機に添付されている周辺機器用ドライバ

周辺機器を利用するために必要なドライバが本機に添付されています。ドライバはハー ドディスケ(Aドライブ)の次のフォルダに種類別に分類して格納してあります。

- ・Optionsフォルダ
- ・Driversフォルダ
- ・Drivers 2フォルダ(Microsoft Windows 95 Companion CD-ROM内の Driversフォルダと同じものです)



- ・周辺機器のドライバやマニュアルがWindows 3.1 用のものしかない場合は、前ペ ージの手順でWindows 95用のドライバを探してご使用ください。
- ・周辺機器に添付されているドライバがWindows 95用で、前ページの手順でドラ イバが見つからない場合は、周辺機器に添付のドライバを使用してください。

なお、ドライバは本機出荷後にバージョンアップすることがあります。PC - VANなどの各 BBSに登録されている情報を参照し、必要に応じてダウンロードしてください。

### ◆ 周辺機器とドライバの状態を調べる ○

Windows 95のコントロールパネルを使って、組み込んだドライバの状態を調べることができます。 コントロールパネル内にある「システム」のアイコンを開き、「デバイスマネージャ」のタブをクリックして ください。接続されている周辺機器の一覧が表示できます。



ここで、もし各アイコンに赤い「×」印や黄色い「!」印がついていたら、ドライバや周辺機器に何らかの障害が発生していることを示しています。

アイコンが正しく表示されていれば、その周辺機器は正しく動作しています。



「スタンダードディスプレイアダプタ」と「YMF715互換MPU401」と「FIR(NAFIRL001)」には 赤い「×」印がついていますが、異常ではありません。

# プリンタを使う

# プリンタを接続する .....

### ⚠警告



#### 雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の 接続や取り外しを行わないでください。 落雷による感電のおそれがあります。

### <u> </u>注意



プリンタの取り付け/取り外しをするときは、電源コードを抜いて ください。



周辺機器を使う

電源コードがACコンセントに接続されたまま、プリンタの取り付け/取り外しをすると、感電の原因となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。



プリンタを接続するには、プリンタケーブルが必要です。なお、本機には、プリンタケ ーブル(PC-9801N-19、PC-9801LV-13)は接続できません。 プリンタとの接続には、36ピンパラレルインタフェースに対応したプリンタケーブル (PC-CA202/204)のご使用をおすすめします。

- 本機とプリンタの電源を0FFにします。
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜きます。
- 3 本機からACアダプタを取り外します。



本機のプレク用コネクタにプレンタケーブルの小さい方のコネクタを差し込みます。



5 プリンタケーブルの大きい方のコネクタをプリンタのコネクタに差し込み、ストッパで とめます。



プリンタの機種によって接続するコネクタの位置が異なります。詳しくは使用するプ リンタのマニュアルをご覧ください。



プリンタの電源ケーブルをACコンセントに接続します。

7 本機の電源コードをACコンセントに接続します。

#### プリンタを設定する ..... ....

プリンタを使うにはどんなプリンタを使用するのか、設定する必要があります。

- プリンタの設定をする前にプリンタの製造元と製品(モデル)名を確認してください。
  - プリンタドライバが組み込まれていないと、印刷出力時にフォントが不正になる場 合があります。出荷時に組み込まれているプリンタドライバは削除しないでください。
- プリンタが正しく接続されていることを確認します。 1
- 2 [スタート ボタン [設定][プリンタ」の順にクリックします。 「プリンタウィンドウが表示されます。すでに設定済みのプリンタがある場合は、「プ リンタウィンドウにプリンタのアイコンが表示されています。

🖻 ጋሣンጵ	
ファイル(E) 編集(E)	) 表示(⊻)
_^/レプ( <u>H</u> )	
	-
フリンタの追加	
<u> </u>	-
3 個のオブジェクト	

3 [ プリンタの追加 アイコンをダブルクリックします。 [ プリンタウィザード 」ウィンドウが表示されます。



Δ

[次へ)ボタンをクリックします。

5 表示されるリストの中から、使用するプリンタの製造元とプリンタ、または互換性の あるプリンタを選択します。

ንጥሪቃ ዕለታየትዮ				
7リンタの製造元とモデルをう は、「ティスク使用」を押して して互換性のあるフリンタを	暮んでください。フリンタロインストール・ディスカが付いている場合 ください。フリンカが一覧にない場合は、フリンタのマニュアルを参照 遠んでください。			
製造元(M):	7リンタ( <u>P</u> ):			
KYOCERA Linotype-Hell DEGU OKI PostSoript OMS RICOH	NEC MAINWARE 2000E NPDL2 NEC MAINW RE2000E NPDL2 NEC MAINW RE2000E NPDL2 NEC MAINW RE2000E NPDL2 NEC MAINW RE2001W NPDL2 NEC MM-1010 NEC MM-1010 NEC MM-1010 NEC MM-1020			
	〒~42ク使用(H)_			
	< 戻る(B) 次へ> キャンセル			



[ 次へ ボタンをクリックします。



プリンタにインストールディスク(ドライバディスク)がついている場合は、[ディスク 使用]ボタンをクリックして、インストールディスクのデータをインストールします。


表示されるリストから、プリンタを使用できるポート(接続先を選択します。

270%で使用するホートを違んで、[2次へ] を押してくだ さし。 利用できるホートム). COM1: 通信ホート サポート 1152ktps COM2: FIR(NAFIRL001) FILE: ディスカニファイルを作成 FIFT: 70205-FIC 65 pn パットの インテーフェ(2)

9

■ [次へ ボタンをクリックします。

使用するプリンタに名前を付けます。

通常使うプリンタにする場合ははいをクリックしてください。



10 [次へ」ボタンをクリックします。



ポートは外部のコンピュータや周辺機器との「窓口」になる部分です。添付のポートバーにはシリアルコネ クタやプリンタ用コネクタがありますが、Windows 95で使われるポートはそれらに対応しています。 COM1 がシリアルコネクタ、LPT1 がプリンタ用コネクタのことです。

11 テストページを印刷する場合ははい」を選択します。



12 設定が終了した社完了ボタンをクリックします。

手順5でインストールしなかった場合、インストールが必要な場合は、ここで、ディスクの挿入 画面が表示されますので、プリンタに添付されていたマニュアルをご覧のうえ、指示されたディスクをセットしてください。設定がすべて終了すると、新しく追加したプリンタのアイコンが、プリンタ ウインドウに表示されます。



プラグアンドプレイ(PnP)対応プリンタを使うときの注意

プラグアンドプレイ(PnP)対応プリンタ(以下PnPプリンタとします)を本機と接続し、プリンタの電源を入れてからWindowsを起動させると、PnPプリンタが検出され、プリンタドライバを組み込むために自動的に[デバイスドライバウィザード]が起動します。 このときにPnPプリンタの製造元から提供されているプリンタドライバのディスクをフロッ ピーディスクドライブに入れて、[デバイスドライバウィザード]の[次へ]ボタンをクリックし ても、「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示され、プリンタドライバの 組み込みができない場合があります。

このような場合には、[完了」ボタンをクリックしてエデバイスドライバウィザードを一度終了し、次の手順でPnPプリンタのプリンタドライバを組み込んでください。

◀ [スタート」ボタン [設定][プリンタ]の順にクリックします。

[ プリンタ ウィンドウが表示されます。

2 [ プリンタの追加 アイコンをダブルクリックします。

[ プリンタウィザード ]ウィンドウが表示されます。

- 3 [次へ ボタンをクリックします。
- [ディスク使用 ボタンをクリックします。

[フロッピーディスクからインストール]が表示されます。

5 PnPプリンタの製造元から提供されているプリンタドライバのディスクをフロッピー ディスクドライブに入れて、[配布ファイルのコピー元]にフロッピーディスクドライブ のドライブ名を指定し、[OK」がタンをクリックします。

[ プリンタウィザード ]フ[ プリンタ ]こご使用になるPnPプリンタの名称が表示されます。

- こころ ボタンをクリックします。
- 7 [ プリンタウィザード )2[ 利用できるポート から使用するポートを選択し、[ 次へ ボ タンをクリックします( 通常は LPT1:プリンタポート( 36pinパラレルインターフェイ ス) を選択します )。
- PnPプリンタをWindowsアプリケーションで通常使用する場合は「Windowsアプリケーションで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか?」の[はい ]をクリックします。[はい ]がチェックされたことを確認して、[完了 ]ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが始まり、必要なファイルをシステムにコピーします。

周辺機器を使う





手順9の終了後デバイスドライバウィザードが起動する場合はデバイスドライバウィ ザード内の[キャンセル ]ボタンをクリックしてください。

再起動後PnPプリンタのプリンタドライバが組み込まれます。



ネットワークに接続されているプリンタを使用する場合は、次のように設定します。 設定するには、あらかじめプリンタのパスを調べておく必要があります。

プリンタのパス名など、ネットワークプリンタについては、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

- ¶「プリンタを設定する」の手順1~3を行います。
- 2 [ 次へ ボタンをクリックします。
- 3 [ ネットワークプリンタ をクリックして[ 次へ 」ボタンをクリックします。

次の画面が表示されます。



▲ ネットワークパス名を入力します。

[参照]ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているプリンタを表示することができますので、そこから選択することもできます。

「[次へ ボタンをクリックします。

後は、画面の指示に従ってプリンタをインストールしてください。

# メモリを増やす

本機には、あらかじめ32MバイトのRAMボードが内蔵されています。 メモリを増設すると、データをより高速に扱うことができます。



使用できる増設RAMボードについてはP.149をご覧ください。

# メモリを取り付ける/取り外す.....

### ⚠警告



雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の 接続や取り外しを行わないでください。

ТС,

落雷による感電のおそれがあります。

#### <u> </u> <u> 八</u> 注意



増設RAMボードの取り付け/取り外しをするときは、電源コードを 抜いてください。

電源コードがACコンセンHに接続されたまま、増設RAMボードの取り付け/取り外しをすると、感電の原因となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。



- ・ 増設RAMボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた 状態で増設RAMボードを扱うと、増設RAMボードが破損する原因となり ます。増設RAMボードに触れる前に身近な金属(アルミサッシやドアのノ ブなど)に手を触れて、静電気を取り除くようにしてください。
- ・ 増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良な ど故障の原因となります。
- ・ボード上の部品やハンダ付け面に触れないように注意してください。
- ・ 増設RAMボードの向きに注意してください( ③P.65), 増設RAMボードを 間違った向きで無理に取り付けようとすると、本機コネクタ部や増設RAM ボードが故障する原因となります。
- ・あらかじめRAMボードが取り付けられている方のスロットを空の状態にする と、本機は使用できません。

9 増設RAMボードの取り付け/取り外しには +( プラス)ドライバが必要です。 ネジに合うドライバをご用意ください。

#### 増設RAMボードを取り付ける



本機の電源がOFFになっていることを確認します。



サスペンド状態やハイバネーション状態のときに本機の機器構成を変更しな いでください。サスペンド状態やハイバネーション状態のときには一度もとの 状態に戻してデータを保存してから、本機の電源を0FFにし、機器の取り付け/ 取り外しを行ってください。

- 2 電源コードのプラグをACコンセントから取り外します。
- 3 本機からACアダプタを取り外します。
- ▲ 本機にケーブル類が接続されている場合、すべて取り外します。
- 5 本機のフタ液晶ディスプレイを閉じて本機を裏返します。
- 「 バッテリパックを取り付けている場合はバッテリパックを取り外します( @P.11)



- 本機を裏返し、もとに戻してフタ、液晶ディスプレイを開けます。
- 9 本機前面の図の部分を手前に引きます。

7



10 ずらした部分を図の矢印の方向に開けます。



取り付けられているメモリボード の形状は異なることがあります。 増設RAMボードを取り付けます。増設RAMボードの切り欠き部分を本機コネクタの突起部にあわせて、端子部があたるまで挿入します。







カチッと音がするまで増設RAMボードを本機に強く倒し込みます。







- 15 ACアダプタを本機に接続し、電源コードをACコンセントにつなぎ、本機の電源を 0Nにします。
- これで、増設RAMボードの取り付けができました。

ディップスイッチの設定がご購入時の設定に戻っていることがあります。必要な場合 は設定し直してください。

#### 増設RAMボードを取り外す

- 「増設RAMボードを取り付ける」の1~10の手順で本機のカバーを開けます。
- **2** コネクタの両端を左右に押し広げながら、増設RAMボードを引き起こして取り外してください。



手順1で開いたカバーをもとに戻します。

3

小したネジを取り付けます。

これで増設RAMボードが取り外せました。



増設RAMボードを取り外したあとはディップスイッチの設定がご購入時の設定に戻 っていることがあります。必要な場合は、設定し直してください。

# 増やしたメモリを確認する。

増やしたメモリが認識されたかどうかを確認します。

電源をONにします。

次のようなメモリチェックの画面が表示されます。



メモリ容量を確認します。



- ・ 98NOTEメニューの「動作環境の設定」で「16Mバイトシステム空間」が使用する } になっているときには、メモリチェックで表示される容量は実際のユーザーズメモ リより1Mバイト少ない値になります。
- ・ユーザーズメモリ容量は、搭載メモリの総容量より0.4Mバイト少なく表示されます。



・本機で使える増設RAMボードを取り付けているか



メモリ容量はWindows 95でも確認できます。

【 [スタート ボタン-[設定]]コントロールパネル]の順にクリックします。
[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

2 [システム アイコン 💻 をダブルクリックします。

[システムのプロパティ ウィンドウが表示されます。

[情報 アブまたは パフォーマンス アブで確認することができます。

# PCカードを使う

本機ではPC Card Standard準拠のPCカードを使用できます。PCカードを使うことで、機能を拡張したり、様々な周辺機器を接続することができます。





- ・ZVポートおよびCard Bus対応のPCカードは本機にインストールされている Windows 95でのみ使用できます。市販のWindows 95では使用できません。
- ・ Windows 95では上のスロットがソケット2(スロット1)下のスロットがソケット1(ス ロット0)と表示されます。
- Card Bus対応のPCカード使用時にはWindowsのCPU速度は100%にしておいてください。

## PC**カードの取り扱い上の注意 ……**

PCカードは非常に精密にできています。PCカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ・ 高温・低温・多湿の場所に放置しないでください。
- 濡らさないでください。
- ・重いものを載せないでください。
- ・ぶつけたり、落としたりなどの衝撃を与えないでください。
- ・PCカードの端子部分に金属などを差し込まないでください。

## PC**カードの**出し入れ .....



PCカードを入れる



- PCカードの方向に注意してください。PCカードには表と裏があり、PCカードスロットに挿入する向きが決まっています。逆に挿入しようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると本機内のピンが折れて、PCカードスロットが壊れてしまいます。PCカードの向きは、PCカードのマニュアルをご覧になり確認してください。
  - アプリケーションソフトを使用しているときは、PCカードを出し入れしないでください。PCカードの出し入れや取り扱いについては、PCカードに添付のマニュアルをあわせてご覧ください。
- PCカードの上面(表)を上にして、矢印の方向へ静かに差し込みます。



**2** PCカードが完全に差し込まれたかどうかを確認してください。完全に差し込まれる と、PCカードスロットのイジェクトボタンが少しとび出します。



PCカードイジェクトボタンを完全に手前に引いてから、右に倒します。





PCカードイジェクトボタンを倒すときは完全に引き出してから倒してください。 完全に引き出さずに無理に倒そうとすると、破損の原因となります。

#### PCカードを取り出す

PCカードを取り出す前に

Windows 95で32ビットPCカードを使用している場合は、取り出す前に次の操作を行ってください。

タスクバーに表示されている●をクリックします。



- [\*\*\*\*\*の中止 [\*\*\*\*\*には使用しているPCカード名などが入ります という メッセージが表示されるのでクリックします。
- 次の画面が表示されたら[OK 」ボタンをクリックします。



(画面はPCカードによって異なります)

タスクバーから S が消え、PCカードを安全に取り外せる状態になります。

PCカードの取り出しかた



2 PCカードイジェクトボタンを押します。

イジェクトボタンを図のように起こします。



PCカードを持ち、矢印の方向に静かに引き抜きます。

PCカードが少しとび出します。



PC**カードの**設定をする **....** 

PCカードを使うときには、ソフトウェアの設定が必要です。

#### 割り込みの設定

PCカードによっては割り込みレベルの設定が本機の設定と重なる場合があります。 PCカードのマニュアルとこのマニュアルのP.120をご覧になり、割り込みが重なってい ないことを確認してください。割り込みが重なる場合は、重ならないように設定を変更して ください。

#### PCカードサポートソフトウェアの設定

Windows 95でPCカードを使用するには、PCカードに対応したPCカードサポートソフトウェアが必要です。PCカードサポートソフトウェアには、32ビットのものと16ビットのものの2種類があります。32ビットと16ビットのPCカードサポートソフトウェアの両方を同時に利用することはできません。どちらのPCカードサポートソフトウェアを利用するか設定します。

#### 使用するPCカードの種類を確認する

まず最初に、使用するPCカードでどちらのPCカードサポートソフトウェアが必要かを確認 します。Windows 95用ドライバの有無は、PCカードの販売元にお問い合わせください。

PCカードの種類	必要となるPCカードサポートソフトウェア		
PC-9801N-J**の NEC製PCカード*1	32ビット		
Windows 95用 ドライバがあるPCカード	32ビット		
Windows 95用 ドライバがないPCカード	16ビット		
ZVポート対応の PCカード	お使いになるカードにより異なります。PCカ ードに添付のマニュアルをご覧ください。		

\*1:PC-9801N-J01を除く



- ・ 16ビットでPCカードを使用する場合は、ハイパーターミナルなどの32ビット アプリケーションソフトからPCカードを使用できない場合があります。
- 16ビットでPCカードを使用する場合は、サスペンド/レジューム機能やハイ バネーション機能を使うことはできません。
- ・ 16ビットPCカードを使う場合は、PCカードが使用するリソース(割り込みレベル、1/0ポート、メモリを予約しておいてください。リソースの予約についてはWindows 95のヘルプをご覧ください。
- ・32ビットで割り込みを必要とするPCカードを使う場合、PCカードが使用するための割り込みを空けておいてください。

32ビットでPCカードを利用する

初めて使うPCカードを入れると、「新しいハードウェア ウィンドウ\*が表示され、各PCカー ドごとに必要な設定が自動的に行われます。この作業には数十秒かかりますので、設定 が終了するまでしばらくお待ちください。

\* ウィンドウに表示されるメッセージはPCカードにより異なります。



なお、同じPCカードを挿入した場合、2回目以降は「新しいハードウェア」ウィンドウは 表示されません。

32ビットでフラッシュメモリカードユーティリティを利用する

本機でフラッシュメモリカード PC-98HA-02 を使う場合は、次の手順でフラッシュメ モリカードユーティリティのセットアップを行ってください。

本機の電源をONにします。 1

「Windows 95を起動しています...のメッセージが表示されている間に、キーボ 2 ードの[f-8]を押します。

Windows 95起動メニューが表示されます。





キーボードの「f・B」を押すのが遅れた場合、Windows 95が起動します。その場合は、 Windowsを終了させて、手順1からやり直してください。

- - 3 キーボードの ① ↓ を使って、「コマンドプロンプトのみ」に反転表示を合わせ、 🖓 を押します。
  - EDIT.EXEなどのテキストエディタを使って、CONFIG.SYSファイルに次の行 Д を追加します。

DEVICE=<Windows 95のドライブ名>:¥WINDOWS¥SYSTEM¥CSMAPPER. SYS DEVICE=<Windows 95のドライブ名>

:¥WINDOWS¥SYSTEM¥CARDDRV.EXE /SLOT=n /MODE=m

nの値には、本機のPCカードスロットの数を指定します。

また、CSMAPPER.SYSとCARDDRV.EXEのファイルが<Windows 95 のドライブ名>:¥WINDOWS¥SYSTEMフォルダにあることを確認してください。

mの値には、使用するPCカードの種類によって、次の値を指定します。

0	SRAMカード用のドライプを確保します。フラッシュメモリカードを使用 することはできません。
1	フラッシュメモリカード用のドライプを確保します。SRAMカードを使用 することはできません。
2	SRAMカード用とフラッシュメモリカード用のドライブを確保します。 /SLOT=2を指定した場合のドライブの割り当て方は、次の通りです。 最初の2ドライブ:SRAMカード用 後の2ドライブ:フラッシュメモリカード用

- **5** 本機を再起動させます。
- コントロールパネルの[アプリケーションの追加と削除をダブルクリックします。
- ▼ [Windowsファイル 汐ブで[ディスク使用 jボタンをクリックします。
- 2 [フロッピーディスクからインストール ]で、WFLUTL.INFを指定してフラッシュメ モリカードユーティリティをインストールします。

WFLUTL.INFは < Windows 95のドライブ名 >: ¥DRIVERS¥STORAGE ¥NEC¥FLUTLフォルダに格納されています。

フロッピー ディスクかいらインストール	X
こうい クロの海峡きったの 在する かりにいい キャックカ	ок キャンセル
を指定したドライアに入れて、[OK] を押 してください。	参照( <u>B</u> )
配布ファイルのコビー元:	
RS¥STORAGE¥NEC¥FLUTL¥₩FLUTL.INF	

16ビットでPCカードを利用する

16ビットでPCカードを使う場合は、次の手順が必要です。

- (1) PCカードサポートソフトウェアインストールディスクを作成する。
- (2)「16ビットPCカードサポートソフトウェア をインストールする。
- (3)「16ビットPCカードサポートソフトウェア を登録する。
- (1) PCカードサポートソフトウェアインストールディスクを作成する 次の手順で「PCカードサポートソフトウェアインストールディスク(以降 インストールディスク)を作成します。

フォーマットしてもよい2HDフロッピーディスク1枚を準備しておいてください。 このフロッピーディスクには、「インストールディスク」と書いたラベルを貼っておきます。



なお、インストールの作業を行う前に、「インストールディスク」のREADME.PCCファ イルをよくお読みください。

- 本機の電源をONにします。
- 2 「Windows 95を起動しています ...」というメッセージが表示されている間にキ ーボードの[1-8]を押します。

Windows 95起動メニューが表示されます。



- 3
- キーボードの↑ ↓を使って、「コマンドプロンプトのみ」にカーソルを合わせ、 砂を 押します。
- コマンドプロンプトから次のように入力します。

- CD ¥PCCARD 创 CPCRDCFG <フロッピーディスクドライブ名>: 创
- 5 画面に表示されるメッセージにしたがって、フォーマットしてよい2HDフロッピーディスグ「インストールディスク」と書いたラベルを貼ったものをフロッピーディスクドライブにセットしてください。

何かのキーを押します。

フロッピーディスクのフォーマットがはじまります。フォーマットした後、「インストールディスク」が作成されます。

- (2 ∫16ビット PCカードサポートソフトウェア」をインストールする▲ 本機の電源をONにします。
  - ? インストールディスク をフロッピーディスクドライブにセットします。
  - こ、スタート」ボタン [ファイル名を指定して実行 ]の順にクリックします。
  - A前の欄に次のように入力します。

<フロッピーディスクドライブ名>:¥WINSTCRD 🕗

WINSTCRDが起動し、「PCカードサポートソフトウェア」をインストールします。

(3)16ビット PCカードサポートソフトウェア」を登録する

「16ビット PCカードサポートソフトウェア」を登録すると、32ビットでPCカードを 使用できなくなります。

- 電源をONにします。
- 2 [スタート ボタン [ プログラム ] [ PCカードユーティリティ ] [ WCARDCFG ]の順にクリ ックします。
- 3 「起動ドライブ」を指定し、「登録」ボタンをクリックするとCONFIG.SYSの設定が変更されます。
- \_ [スタート」ボタン [ヘルプ ]の順にクリックします。
- 「 [ キーワード 汐ブをクリックします。
- 「 [ キーワード 」の画面で「PC」と入力します。

▼ 表示された項目から「使用できないようにする」を選択します。

32ビットで PCカードを使用できないようにすると「16ビット PCカードサポートソフトウェア」が使用できます。

以降は、「Windowsのヘルプ」の指示にしたがって、操作を行うと「16ビット PC カードサポートソフトウェア」が利用できます。

#### PCカードサポートの設定を変更する

16ビットから32ビットに変更する



本機では、購入時に32ビットPCカードサポートに設定されているため、通常は次の手順は必要ありません。16ビットPCカードサポートから32ビットPCカードサポートに変更 する場合は次の手順を行ってください。

PCカードサポートを16ビットから32ビットに変更する場合は、次の操作を行って Windowsのヘルプを参照してください。

- 電源をONにします。
- 2 [スタートボタン [プログラム][PCカードユーティリティ][WCARDCFG ]の順 にクリックします。
- 3 「起動ドライブ」を指定し、[削除」ボタンをクリックするとCONFIG.SYSの設定が 変更されます。
- ▲ [スタート」ボタン [ヘルプ]の順にダブルクリックします。
- 5 [目次]の画面で[トラブルシューティング]をダブルクリックします。
- 表示された項目から PCカード PCMCIA )に関する問題 をダブルクリックします。
- 7 [PCカードを挿入しても自動的にインストールされません をクリックします。

以降はWindowsの[ヘルプ]の指示にしたがって操作を行ってください。32ビットでPCカードを利用することができます。



32ビットで利用するように設定すると16ビットは利用できなくなります。

32ビットから16ビットに変更する

PCカードサポートを32ビットから16ビットに変更するには前ページの手順で再度登録を 行います。16ビットで利用するように登録すると、32ビットは利用できなくなります。



本機にCRTディスプレイやプロジェクタ、テレビを接続することができます。CRTディスプ レイを接続して大画面で作業をしたり、プロジェクタを接続して効果的なプレゼンテーシ ョンをすることができます。

ディスプレイの種類と解像度....

別売のディスプレイを使用する場合は、接続する前に次の表を参考にして変換アダプタ の要/不要、解像度等を確認してください。

解像度(ドット)	)	640 :	×400	640×480	800	×600	1,024×768	1,280	<b>x</b> 1,024
**	走查周波数	24kHz	31kHz*5	31kHz	38kHz*6	47kHz*7	60kHz	64kHz	80kHz
使用できる	走查周波数	56Hz	70Hz	60Hz	60Hz*6	75Hz*7	75Hz	60Hz	75Hz
CRTディスプレイ 📐	_変換アダプタ*1								
PC-KD1511			-	-	-	-	-	-	-
PC-KD1521			-	-	-	-	-	-	-
PC - KD854N			-	-	-	-	-	-	-
PC-KD1421			-	-	-	-	-	-	-
PC-KD1522					-	-	-	-	-
PC-KH1711					*2	-	*2	-	-
PC-KH2021					*2	-	*2	-	-
PC-KM141*3	*4				*2			-	-
PC-KM151					*2				-
PC-KM152*3					*2				-
PC-KM153*3					*3			-	-
PC-KM153R*3	*4				*3				-
PC-KM153R2*3									-
PC-KM154*3									-
PC-KM171					*2				-
PC-KM172*3					*2				-
PC-KM173*3	*4							-	-
PC-KM173R									-
PC-KM173R2									
PC-KM174*3									
PC-KM174R									
PC-KM175									-
PC-KM211*3		-							-
PC-KM212*3		-							
PC-KM291*3					-	-	-	-	-
PC-TD151					-	-	-	-	-
PC-TD211					-	-	-	-	-

\*1: 別売のディスプレイインタフェース変換アダプタ(PC-9821-K06)

\*2:初めてこの解像度を使用する場合、画面位置補正、ディスプレイの前面スイッチ操作)が必要です。

\*3:このディスプレイは、Windowsのパワーマネジメント機能に対応しています。 :表示可能 - :表示不可能 \*4:CRTディスプレイに添付されている変換アダプタを使用して接続します。

\*5:CRTディスプレイでのみ表示可能です。

\*6:液晶ディスプレイとの同時表示にした場合、このリフレッシュレートになります。

\*7:CRTディスプレイでのみ表示可能です。

### 液晶プロジェクタの種類と解像度.....

別売の液晶プロジェクタを使用する場合は、接続する前に次の表を参考にして解像度 等を確認してください。

主一般侮由	走查周	周波 数	ViewLight	ViewLight
农小肝隊反	水平( kHz )	垂直(Hz)	S800	V600
640×400	24	56		
640×400	31	70		
640×480	31	60		
	38	60		*
800×600	47	75		
1,024×768	60	75	*	

:表示可能。ただし、ユーザ調整の必要あり。

:表示不可能。

\*: 簡易表示です。なお、ViewLight S800の表示画素数は800×600ドット、ViewLight V600の表示画素数 は640×480ドットですので、それぞれの画素数と異なる解像度を表示する際、文字や罫線の大きさなどが不 均一になったり、一部が欠ける場合があります。

#### プロジェクタと液晶ディスプレイを同時表示にする

640×480ドット表示固定のプロジェクタ等と本機の液晶ディスプレイで同時表示をする場合、次のようにしてプロジェクタ等の表示をフルスクリーンにすることができます。

◀ [スタート ボタン [ 設定 ] [ コントロールパネル ]の順にクリックします。

[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

- 2 [画面 アイコン 駅 をダブルクリックし、[ディスプレイの詳細 アブをクリックします。
- 1 詳細プロパティ ボタンをクリックします。
- Ⅰ [アダプタ 汐ブをクリックし、さらに〔変更 ボタンをクリックします。
- 📕 [すべてのデバイスを表示]の 🎦 をクリックし、 🖸 にします。
- 8 製造元から[NEC を選択し、モデルから[スタンダードディスプレイアダプタ (9821シリーズ)を選択します。
- 7 [ OK ボタンをクリックします。

[ 閉じる ボタンをクリックします。 さらに【 閉じる ボタンをクリックします。 Windowsを再起動するダイアログボックスが表示されるので、他のアプリケーションが 終了していることを確認してから[はい」ボタンをクリックすると、プロジェクタ表示をフル スクリーンにすることができます。このとき、プロジェクタの最大発色数は256色になります。 また、この方法でプロジェクタ等と本機の液晶ディスプレイの同時表示を行っている場 合、液晶ディスプレイでは画面のまわりが黒く表示されます。 もとの設定に戻す場合は、『困ったときにお読みください』の「ハードウェアウィザードを起 動してドライバのインストールを実行して再起動したら、640×480ドットの表示になった」

をご覧ください。そこに記載されている手順と同様の手順でもとに戻すことができます。

### CRTディスプレイを接続する.....

### ≜≝≜



雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の 接続や取り外しを行わないでください。

落雷による感電のおそれがあります。

#### <u> </u> <u> 八</u>注意



CRTディスプレイの取り付け/取り外しをするときは、電源コードを抜いてください。



電源コードがACコンセントに接続されたまま、CRTディスプレイの取り付け/取り外しをすると、感電の原因となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。

- ✓ 本機の電源を0FFにします。
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜きます。
- 3 本機からACアダプタを取り外します。
- 4 ディスプレイ用ケーブルのコネクタを本機のCRT用コネクタに差し込み、ネジを回して固定します。
- 5 CRT ディスプレイの電源ケーブルのコネクタを、ディスプレイ背面の電源コネクタ に差し込みます。



CRTディスプレイの電源ケーブルのプラグをACコンセントに接続します。





- ・ CRTディスプレイを接続した場合、本機はACアダプタでお使いください。また、本機とは別に、CRTディスプレイ用に電源が必要です。
  - ・使用するディスプレイによっては、別売のディスプレイインタフェ ス変換アダプ タ(PC-9821-K06)が必要です。
  - ディスプレイ用ケーブルをディスプレイに接続する場合、ディスプレイ側のアナロ グRGBコネクタは15ピンタイプを使用してください。21ピンタイプのコネクタは使 用できません。
  - ディスプレイ用ケーブルのディスプレイ側コネクタには、「固定されているタイプ」
     と「着脱できるタイプ」があります。着脱できるケーブルのときには、手順5と同様にしてケーブルをディスプレイに接続してください。

Ŧ



ディスプレイインタフェース変換アダプタを、本機のCRT用コネクタに差し込み、ネジを回して固定します。

ディスプレイ用ケーブルのコネクタをディスプレイインタフェース変換アダプ タに差し込み、ネジを回して固定します。



テレビを接続する .....









・ テレビ側の接続についてはテレビのマニュアルをご覧ください。

テレビを接続した場合、本機はACアダプタでお使いください。 また、本機とは別にテレビ用に電源が必要です。

### ディスプレイに合わせて本機を設定する .....

別売のCRTディスプレイを使用する場合は、CRTディスプレイに合わせて、本機の設定を変更する必要があります。

CRTディスプレイが本機に正しく接続されていることを確認します。

640×400ドットの解像度を使用する場合は手順2へ、それ以外の場合は電源を 0Nにしたあと手順3へ進んでください。

2 キーボードの GRPH と1または2のどちらかを同時に押しながら、本機の電源を0Nにします。1と2のどちらのキーを押すかは下の表を参照してください。すでに電源が0Nになっているときには、一度電源を0FFにしてから0Nにしなおしてください。

解像度 ドット)	水平走查周波数	設定方法
640 + 400	24kHz	GRPHと1を押しながら電源をONにする[ご購入時の設定]
31kHz*		GRPHと2を押しながら電源をONにする

\*: 水平走査周波数を31kHzにして別売のCRTディスプレイを接続すると本機の液晶ディスプレイには画面 が表示されなくなります。また、別売のCRTディスプレイを接続していないときには、31kHzで起動しても自 動的に24kHzになり、本機の液晶ディスプレイに表示可能になります。

Windows起動時に、新しいディスプレイが接続されていることを示すメッセージ が表示されます。

これで設定は終了です。

3

表示されたメッセージが適切でなかったり、プラグ&プレイに対応していないディスプレ イを使う場合には、次の操作が必要です。

◀ [スタート)ボタン [設定] [コントロールパネル ]の順にクリックします。

[コントロールパネル ウィンドウが表示されます。

2 [画面 アイコン■をダブルクリックします。

[画面のプロパティ」が表示されます。

- ? [ディスプレイの詳細 アブをクリックします。
- \_\_\_\_ [詳細プロパティ」ボタンをクリックします。
- 「 [モニター 汐ブをクリックし、[ 変更 ボタンをクリックします。

[すべてのデバイスを表示]がある場合はクリックします。

次の画面が表示されます。



7

6

[製造元 近 モデル を選択します。

製造元は、接続したディスプレイの製造元を選択してください。 モデルは、接続したディスプレイに対応した項目を選択してください。



ディスプレイー覧に接続したディスプレイの種類が表示されない場合は、「 製造元 で ✓ 「(スタンダードモニター)][ モデル ]では接続したディスプレイに対応している解像 度を選んでください。

[OK]ボタンをクリックし、[閉じる]ボタンをクリックします。 8

- 9 再び[OK]ボタンをクリックします。
- **1** Windowsを再起動するようメッセージが表示された場合は、他のアプリケーショ ンソフトがすべて終了されていることを確認してからはい ボタンをクリックしてく ださい。

これでディスプレイの設定ができました。

### 表示を切り替える ......

CRTディスプレイや液晶プロジェクタ、テレビなどを接続した場合、次のようにして画面の出力先を切り替えることができます。

- 記動しているアプリケーションソフトをすべて終了させます。
- 2 タスクバーの 🖳 をクリックします。

メニューが表示されます。

表示させたい出力先をクリックします。

項目	出力先
本体出力	液晶ディスプレイに表示。CRTディスプレイ接続時は液晶 ディスプレイとCRTディスプレイに同時表示。
ディスプレイ出力*1	CRTディスプレイのみに表示。
テレビ出力*2	テレビ/ビデオ等のみに表示。

\*1:640×480ドットのときには、フルスクリーン表示が可能です。

また、800×600ドットのときには、ディスプレイによってはコントロールパネルの設定により、よりちらつきの少ない表示(垂直走査周波数75Hz を選択することもできます。\*2:640×480ドットのときのみ選択可能です。

メッセージが表示されます。

- フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている場合は、取り出します。
- 「 [OK ボタンをクリックします。

画面が切り替わります。



「ディスプレイ出力」や「テレビ出力」が選択できない場合はタスクバーの■ア イコンを右クリックして「プロパティ」の設定を「使用する」にしてください。

### 表示画面の大きさを変える ......

本機の液晶ディスプレイとCRTディスプレイなどの画面の両方に同時に画面を表示させているとき、CRTディスプレイなどの画面が小さく表示されることがあります。このようなときには、次のような方法で画面を大きく表示させることができます。

「密度変換ユーティリティ」を使う

- 密度変換ユーティリティは解像度が640×480ドットのときのみ使用できます。
   密度変換時には文字や罫線の太さが不均一になります。
- ◀ 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了させます。

🦻 タスクバーの 🖳 アイコンをクリックします。

メニューが表示されます。



3 「密度変換」をクリックします。

密度変換ユーティリティが起動します。

え示モードを選択して OK ボタンをクリックします。

現在の解像度	変換できる表示方法		
	拡大表示 (CRTディスプレイ+本体液晶ディスプレイ)		
640 × 480 אייר אייל	通常表示 (CRTディスプレイ+本体液晶ディスプレイ)		

本機が再起動し、画面が切り替わります。

本機には、MPU-401対応MIDI機器またはSoundBlaster16対応ジョイスティックを 接続することができます。音楽やゲームを楽しむことができます。

## MIDI対応機器/ジョイスティックを接続する...

本機にMIDI対応機器やジョイスティックを接続するには、次のうちどちらかの変換ケー ブルが必要です(別売)。

- ・MIDI/JOYSTICK変換ケーブルA(PC-9821N-K07)
- ・MIDI/JOYSTICK変換ケーブルB(PC-9821N-K08)

MIDI/JOYSTICK変換ケーブルAを使用するときには、プリンタは使用できません。 MIDI/JOYSTICK変換ケーブルBを使用すると、プリンタとMIDI機器/ジョイスティックの両方を同時に使用することができます。

- 本機の電源をOFFにします。
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから取り外します。
- 3 本機からACアダプタを取り外します。
- 本機のプリンタ用コネクタにMIDI/JOYSTICK変換ケーブルを差し込みます。
- 5 MIDI/JOYSTICK変換ケーブルにMIDI/JOYSTICK機器用のケーブルを 接続します。
  - ジョイスティックの設定は、[スタート ]ボタン [設定] [コントロールパネル]の[ゲームコントローラ Jアイコンで行います。詳しくは、ジョイスティックに添付されているマニュアルをご覧ください。

## 

- ・外部MIDI音源は、GENERAL MIDI規格対応音源の使用を推奨します。
- ・MIDIデータの録音を行うには、別途アプリケーションソフトが必要です。

2



本機には、次のような別売の入力装置を接続して使用することができます。用途や使用 する環境に合わせて入力装置を使い分けると便利です。

・マウス

・キーボード

・テンキーボード



入力装置を接続する。

本機の電源を0FFにします。



それぞれのコネクタに印がある方を上にして差し込みます。



PC-9801-106またはPC-9801-119以外の外付けキーボードを接続してい るときにはサスペンド機能やハイバネーション機能が使えない場合があります。



別売の入力機器と本機のキーボードやスライドパッドは同時に使うことができます。 別売の入力機器だけを使いたいときには、98N0TEメニューで設定してください ( @P.110)





Windowsでマイクロホンの音量調節をする場合はボリュームコントロールで行ってく ださい(③P.36)。 98NOTEメニューの「マイクボリューム」での設定は無効になります。

◇ ハウリング・

マイクロホンを本機の内蔵スピーカに近づけると、スピーカからキーンという大きな音が出ることがあります。これをハウリング現象といいます。この場合は、次の対策を行ってください。

- ・スピーカ音量調節つまみを回して、ボリュームを小さくする
- ・マイクロホンを内蔵スピーカから遠ざける
- ・[ ボリュームコントロール ]ウィンドウの[ マイク ]の音量つまみでボリュームを小さくする
- ・98NOTEメニューでマイクボリュームを下げる(MS-DOSで使用している場合)

# シリアル対応機器を使う

本機のシリアルコネクタには、次のような通信用の拡張機器などを接続することができます。

- ・外付けモデム
- ・ターミナルアダプタ
- ・モデム内蔵の多機能電話
- ・音響カプラ
- ・デジタルカメラ
- ・イメージスキャナ



各機器の詳しい使用方法については各機器のマニュアルをご覧ください。



98NOTEメニューと 98NOTEメニューユーティリティ 割り込みレベル・DMAチャネル・ ROMアドレス空間 メモリスイッチ(98環境設定ユーティ リティ)
# 98NOTEメニューと98NOTEメ ニューユーティリティ

98N0TEメニューと98N0TEメニューユーティリティは、本機の使用環境を設定するた めの内蔵プログラムです。別売の機器を使用したいときなど、ご利用の状況に応じて設 定を変更してください。

## 98NOTEメニューを記動する.....

98NOTEメニューは次の方法で起動します。

本機の電源がOFFになっているときの起動のしかた



ハイバネーション状態のときには、この方法で98NOTEメニューを起動する と、保存されていた内容が失われます。 データを保存したいときには、一度電源をONにしてデータをファイルに保存し てから電源をOFFにし、その後98NOTEメニューを起動してください。

キーボードのHELPを押しながら電源スイッチをスライドさせます。



電源をONにして「ピポッ」という音がしたら、キーボードの「HELPから手を離してくださ い。「ピポッ」という音がする前に手を離すと、98NOTEメニューが起動しません。また、 このときスピーカのボリュームを最小にしていると「ピポッ」という音が鳴らないため 注意してください。

98NOTEメニューの「メインメニュー画面」が表示されます。

98NOTEメニュー	Copyright (C) NEC Corporation xxxx	x
×1>×==	インフォメーション	
動作環境の設定	サウンド BIOSを切り離す	
ディップスイッチの設定	マイクボリューム OFF	
省電力の設定	MIDIの割り込み 使用しない	
入出力デバイスの設定	16 Mバイトシステム空間 使用する	
セキュリティの設定	サスペンドスイッチ 有効	
終了	バッテリリフレッシュモード 設定しない	
動作環境の設定を行います.		
+-:選択,Enter+-:設定,ESC+-://:	) 終了	

### サスペンド状態のときの起動のしかた



キーボードのHELPを押しながらサスペンドスイッチを押します。

98NOTEメニューの「メインメニュー画面」が表示されます。

「メインメニュー画面」が表示されてから、キーボードのHELPから手を離してください。

セットアップパスワード設定中の起動のしかた



ハイバネーション状態のときには、この方法で98NOTEメニューを起動する と、保存されていた内容が失われます。 データを保存したいときには、一度電源を0Nにしてデータをファイルに保存

してから電源をOFFにし、その後98NOTEメニューを起動してください。

キーボードの HELPを押しながら、電源スイッチをスライドさせて電源をONにします。

次のような画面が表示されます。





キーボードから、設定されているパスワードを入力します。



キーボードの 🖉を押します。 3

正しいパスワードが入力されると、98NOTEメニューが起動します。



- ・ 誤ったパスワードが入力されると「パスワード不一致」と表示されます。正 しいパスワードを入力してください。
- ・パスワードの入力に3回失敗すると、「パスワードエラー」と表示され、「ピー」 という警告音のあと、自動的に電源が0FFになりますので、最初からやり直 してください。



 パスワード設定中にハイバネーション状態にしたときも、上記と同様の手順で 98N0TEメニューを起動することができます。

ハイバネーション状態から本機をONにして上記の手順を行った場合、パスワードの入力に3回失敗すると、「パスワードエラー」と表示され、「ピー」という警告音のあと、自動的に電源がOFFになってハイバネーション状態に戻ります。

セットアップパスワード設定中でサスペンド状態のときの 起動のしかた



サスペンド状態のときに98NOTEメニューを起動すると、サスペンドの内容が 失われます。

データを保存したいときには、一度レジュームしてデータをファイルに保存してから電源をOFFにし、その後98NOTEメニューを起動してください。

セットアップパスワードを設定しているときにサスペンド状態にした場合には、98NOTE メニューの起動時にセットアップパスワードを2回入力する必要があります。

キーボードのHELPを押しながら、サスペンドスイッチを押します。

電源ランプが点灯します。

セットアップパスワードの入力を求める「ピッピッピッ」という警告音が鳴ります(画面には何も表示されません)





- パスワードの入力中にキーボードの BS を押しても、文字を修正することは できません。
- ・ 誤ったパスワードが入力されると、「ピーッピッピッ」と警告音が鳴ります。正 しいパスワードを入力してください。
- ・パスワードの入力に3回失敗するどピー」という警告音のあと、自動的にサ スペンド状態に戻りますので、最初からやり直してください。



正しいパスワードが入力されると、「セットアップパスワード = 」という画面が表示されるので、もう一度パスワードを入力し、「二を押します。



- ・ 誤ったパスワードが入力されると「パスワード不一致」と表示されます。正 しいパスワードを入力してください。
- ・ パスワードの入力に3回失敗すると、「パスワードエラー」と表示され、「ピー」 という警告音のあと、自動的に電源が0FFになりますので、最初からやり直 してください。

98NOTEメニューが起動します。

## 98NOTEメニューユーティリティを起動する....

98NOTEメニューユーティリティを起動するには、次の方法があります。

【 スタート ボタン [ プログラム ] [ アクセサリ ] [ 98NOTEメニューユーティリティ ] の順にクリックします。98NOTEメニューユーティリティが起動します。



98NOTEメニューユーティリティは、MS-DOSプロンプトから起動することもできます。起動方法は次のとおりです。

1 [スタート]ボタン [ プログラム] [ MS-DOSプロンプト]の順にクリックします。

2「POPMENU」と入力して、JDを押します。



98NOTEメニューはWindowsを終了させてからでないと使えません。98NOTEメニューユーティリティはWindowsから直接使うことができます。

## 98NOTEメニューの設定項目 ·····

動作環境の設定	
サウンド	使用する BIOSを切り離す 使用しない
マイクボリューム 1	OFF ON(レベル5/8)
MIDIの割り込み 1	使用する「使用しない」
16Mバイトシステム空間	使用する」切り離す
サスペンドスイッチ	有效    無效
バッテリリフレッシュモード	設定する
ディップフィッチの設定	
SW1-O(999749977-F)	
SW2-6(内蔵ハードティスク)	
SW2-/(vf=-)	
SW2-8(GDCモード)	2.5MHz [5MHz]
省電力の設定	
省電力モード	フルパワー エコノミー カスタム
液晶ディスプレイ自動停止 2	 設定する(約11分) 設定しない
内蔵ハードディスク自動停止 2	設定する(約3分) 設定しない
CPU自動停止 <sup>2</sup>	設定する 設定しない
LCD連動サスペンド / レジューム	使用する(使用しない)
オートサスペンド	設定する(約13分) 設定しない
入出力デバイスの設定	
98スライドパッド	使用する使用しない

ハエリテハイスの設定
 98スライドパッド
 タップ&ドラッグ機能 <sup>3</sup>
 キーボード指定 <sup>4</sup>
 NUMキーのロック機能
 赤外線通信機能
 モデム <sup>5</sup>

セキュリティの設定	
パワーオンパスワード	使用しない 使用する 変更する
セットアップパスワード	使用しない 使用する 変更する
シリアル1/0ロック	設定しない 設定する
赤外線通信機能1/0ロック 6	設定しない 設定する
プリンタ1/0ロック	設定しない設定する
FD 1/0ロック	設定しない 設定する

 有効
 無効

 内蔵
 外付け

有効 無効

設定不可

使用する使用しない

🗌 …工場出荷時の設定です。

3

| システムの設定を変える

1:「サウンド」が、使用しない」だと設定不可。

2:「省電力モード」が、フルパワー )だど、設定しない )に、{エコノミー )だど、設定する )に固定される。

3:「98スライドパッド」が{使用しない」だと設定不可。

4:別売のキーボード接続時のみ設定可。 5:本機では設定できません。

6:「入出力デバイスの設定」の「赤外線通信機能」が、使用しない」になっているときには設定不可。

## 98NOTEメニューユーティリティの設定項目...

動作環境の設定	
メモリスイッチ	初期化する初期化しない
サスペンドスイッチ	有効無効
省電力の設定	
省電力モード	フルパワー エコノミー カスタム
液晶ディスプレイ自動停止 1	
内蔵ハードディスク自動停止 1	設定する(約3分) 設定しない
CPU自動停止 <sup>1</sup>	設定する 設定しない
LCD連動サスペンド / レジューム	使用する使用しない
オートサスペンド	設定する(約13分) 設定しない
98スライドパッド	使用する使用しない
タップ&ドラッグ機能 2	有効無効
NUMキーのロック機能	有効無効
	工場出荷時の設定です。

1:「省電力モード」が、フルパワー だと、設定しない )に、{ エコノミー だと、設定する )に固定される。 2:「98スライドパッド」が、使用しない だと設定不可。

## 98NOTEメニューの使い方 •••

98NOTEメニューを起動するとまずメインメニューが表示されます。各項目の設定は、 メインメニューから設定画面を表示させて行います。



)98NOTEメニューおよび98NOTEメニューユーティリティではポインティングデバイ スは使えません。操作はすべてキーボードで行ってください。

メインメニュー メインメニューには設定できるメニューの一覧が表示されます。



キーボードの[ESC]を押すか、↑↑↓↓を押して白い四角を「終了」に合わせて、⇒を押します。

メインメニューメインメニューに戻ります。



この画面でキーボードのESCを押すか、↑↓を押して白い四角を終了」に合わせて 』 を押すとメニューが終了します。

## 各項目の詳細 .....

### 動作環境の設定

サウンド

内蔵のサウンド機能を使用するかどうかを設定します。 サウンドB10Sを使用する場合は、{使用する }に設定してください。



 EMSを使用するアプリケーションソフトを起動すると、「メモリが足りません」と表示 されるときは、{BIOSを切り離す }に設定してください。

・{使用しない }にすると留守番電話機能やスピーカホン機能は使用できません。

マイクボリューム

マイクロホンの入力レベルを調節します。

{ ON( レベル5/8 ))に設定した場合、レベルはキーボードの POLL、 COLL で変更できます。 POLL を押すとボリュームが大きくない、 COLL を押すとボリュームが小さくなります。 入力レベルは8段階で調節できます。

「サウンド」を{使用しない}に設定している場合、「マイクボリューム」の項目は設定できません。

また、Windows 95で出力される音に対しては、ここでの設定は無効になります( ( ア P.36 )。

MIDIの割り込み

本機にMIDI機器を接続して使用するときにて使用する」に設定します。「サウンド」を(使用しない)に設定している場合、「MIDIの割り込み」の項目は設定できません。

16Mバイトシステム空間

メモリアドレスF00000h~FFFFFhの空間を16Mバイトシステム空間と呼びます。 このシステム空間を使用する0S、アプリケーションソフトを使う場合や、Windowsを使 用する場合には、使用する Jに設定してください。

(使用する)に設定し、メモリを16Mバイト(ユーザーズメモリ15.6Mバイト)以上搭載している場合、メモリチェック時に表示されるメモリ容量は、実際のメモリ容量より1Mバ イト少ない容量が表示されます。

サスペンドスイッチ

サスペンドスイッチによるサスペンドができないようにするときには、無効 )にします({ 無 効 )にしていてもサスペンドスイッチ以外の方法でのサスペンドやレジュームなどは可 能 )。



{ 無効 }のときには、バッテリ容量がなくなったときサスペンド状態にならずに電源が 0FFになります。

バッテリリフレッシュモード

バッテリリフレッシュモードは、バッテリを完全に放電させてバッテリの能力を復旧させる 機能です。バッテリ充電ランプ( **ロ**)がオレンジ色に点滅したら、この機能を実行してく ださい。



) バッテリ充電ランプがオレンジ色に点滅していないときにバッテリリフレッシュをする 場合は手順1は必要ありません。ACアダプタを取り外してから手順2に進んでください。

- <バッテリリフレッシュの手順>
  - 本機から一度バッテリパックを取り外し、再度取り付けます(③P.11)。ACアダプタ は接続しないでください。
  - **2** 98NOTEメニューを起動します。
  - 3 98NOTEメニューの「動作環境の設定」の画面で、バッテリリフレッシュモードを {設定する}にします。

約3分後に液晶ディスプレイに「バッテリリフレッシュ中」と表示されます。



- ・バッテリリフレッシュモードを実行中に98N0TEメニューを終了すると、バッテリリ フレッシュモードは中断されます。
- バッテリリフレッシュモードの実行中には、本機からバッテリパックを取り外さないでください。
- 自然に電源がOFFになるとバッテリリフレッシュモードの終了です。
- 5

ACアダプタを接続すると、バッテリ充電ランプがオレンジ色に点灯し、バッテリの 充電が始まりますので、ランプが消灯するまで充電してください。



・ バッテリリフレッシュに必要な時間はP.159をご覧ください。

バッテリリフレッシュを行ってもバッテリ充電ランプが点滅するときには、ご購入元 または最寄りのBit-INNにご連絡ください。

### ディップスイッチの設定

メインメニューで「ディップスイッチの設定」を選択すると、次のような画面が表示されます。

ディップスイッチは、本機を機器の構成に応じて正しく動作させたり、機能を変更したり するための重要なスイッチです。ディップスイッチは、一般的な使用条件にそって、あらか じめ設定されています。特に必要のない限りは、変更しないでください。



ディップスイッチを変更した場合、SW2 5のみ設定と同時に有効になります。それ以外のディップスイッチについては、本機を起動しなおしたときから有効になります。

#### ディップスイッチの機能

それぞれのスイッチの機能とON/OFF時の設定値は次のとおりです。

S W 1

スイッチ番号	スイッチの機能	0 N	OFF
1	土体田	常にONの状態で使用	
	不反用	してください。	
2			党に0FFの状態で使
3	未使用		用してください
4			
5	シリアル伝送方式	注1 关昭	
6		江之道	
7 主体田	常にONの状態で使用		
I	不使用	してください。	
8	グラフィックモード	拡張モード	基本モード
			「「」」で購入時の記字

\_\_\_ご購入時の設定

注1 SW1-5、SW1-6シリアルの伝送方式の選択

SW1-5	SW1-6		機能内容
O N	0.1		送信タイミングに本機内部タイマを使用、受信タイミ
UN			ングにはモデムのクロックを使用
0 N	0 5 5	0.7.0 日 世	送・受信タイミングとして、モデムより供給されるク
U N		S12同期	ロックを使用
0 5 5	0 N	同地方加生	受信タイミングは受信データから作られるクロックを
		同期刻時	使用、送信は本機内部タイマを使用
OFF	OFF	調歩同期	送・受ともに本機内部タイマを使用

ご購入時の設定

SW1-5、SW1-6(シリアル伝送方式)

通信をするときの、送信タイミングと受信タイミングを設定します。

SW1-8(グラフィックモード)

液晶ディスプレイの画面表示を、拡張グラフィックモードで表示するか、基本グラフィック モードで表示するかを設定します。{ ON }(拡張モード)に設定すると4,096色中16色 表示に、{ OFF } 基本モード)に設定すると8色中8色表示になります。 この設定はスタンダードディスプレイアダプタ使用時のみ有効です。 S W 2

スイッチ番号	スイッチの機能	O N	OFF
1	土庙田		常にOFFの状態で使
2	不反用		用してください。
3	+ 庙田	常にONの状態で使用	
4	不反而	してください。	
5	メモリスイッチ	初期化しない	初期化する
6	内蔵ハードディスク	切り離す	使用する
7	vf <del>† –</del>	使用しない	使用する
8	GDCモード	5 M H z	2.5MHz
			ご購入時の設定

SW2-5(メモリスイッチ)

メモリスイッチは、ディップスイッチと同じように、本機の状態を設定するスイッチです。メ モリスイッチの内容は、Windows 95では、[コントロールパネル ]の[ 98環境 ]で設定し ます。また、MS DOSの場合は、SWITCHコマンドで設定します。設定方法は「メモリ スイッチ ( ③P.123 をご覧ください。

このディップスイッチでは、電源をONにしたときなどに、変更したメモリスイッチの内容を 初期化するか、変更した内容を保持するかを設定します。

メモリスイッチを変更する場合には、メモリスイッチの変更の前に必ずこのSW2-5を { ON } 初期化しない )にしてください。{ OFF } 初期化する )のままで、電源をOFFに すると、メモリスイッチの内容がご購入時の状態に戻ってしまいます。

メモリスイッチの内容は、本機内蔵のリチウムバッテリによって保たれています。本機の電源を0FFにしたままの状態が2カ月ほど続くと、98N0TEメニューでメモリスイッチを{初期化しない }にしていても、ご購入時の設定に戻ってしまうことがあります。このような場合には、メモリスイッチを{初期化する }に設定し、一度98N0TEメニューを終了します。メニューが終了し、本機が再起動したのち、再度メモリスイッチを{初期化しない }にしてからメモリスイッチを設定しなおしてください。

SW2-6(内蔵ハードディスク)

本機内蔵のハードディスクを使用するかどうかを設定します。{ 0N } 切り離す )にする と、内蔵のハードディスクは使用できなくなります。

SW2-7(vf+-)

キーボードのvfキーを使用するかどうかを設定します。vfキーを使用するかどうかは、お 使いになるアプリケーションソフトによります。なお、vfキーを使用するときは、キーボード のNUMをロックしてください。

SW2-8(GDCモード)

グラフィック処理速度を選択します。

ご購入時には、高速にグラフィック描画ができるように(ON § 5MHz )に設定されています。

市販のアプリケーションソフトの中には、まれにこの設定で正常に動作しないものがありますので、そのような場合は、{OFF {2.5MHz )に設定してください。 この設定はスタンダードディスプレイアダプタ使用時のみ有効です。

S W 3

スイッチ番号	スイッチの機能	0 N	OFF
1			
2			
3			一日1055の仕能で店
4	未使用		市にい「「の状態し使
5			
6			
7			
。 + 存田	常にONの状態で使用		
0	不区用	してください。	

ご購入時の設定

### 省電力の設定

し、次に本機を起動しなおしたときから設定内容が有効になります。

Windows 95上で「ディスクドライブの省電力モード」の機能を利用する場合には、Windows 95のパワーマネージメント機能の[ディスクドライブ ) づで設定してください(ごP.28)、98N0TEメニューの「内蔵ハードディスク自動停止」で設定してもWindows 95では、設定は有効になりません。

#### 省電力モード

本機の動作モードを設定します。「エコノミー」または「カスタム」にすると消費電力を抑えることができます。通常は「フルパワー」の設定で使用してください。

項目	機能
フルパワー	本機の機能を最大限に使用するモードです。
エコノミー	液晶ディスプレイ自動停止(約1分)内蔵ハードディスク自動停 山(約1分)CPU自動停止が自動的に設定されるモードです。
カスタム	液晶ディスプレイ自動停止、内蔵ハードディスク自動停止、 CPU自動停止を自由に設定することができるモードです。



- ・「エコノミー」に設定すると「液晶ディスプレイ自動停止」内蔵ハードディスク自動 停止」CPU自動停止」は「設定する」に固定されます。
- ・Windows上でも省電力の設定をすることができます(GP.25)。

#### 液晶ディスプレイ自動停止

{設定する }に設定しておくと、キーボードやポインティングデバイス、フロッピーディスクド ライブ、ハードディスク、プリンタ、シリアルインターフェイスなどを使用しない状態で設定し た時間が経過すると、液晶ディスプレイのバックライトが自動的に消灯します。キーボード やポインティングデバイスを使うと、バックライトが再び点灯します。 時間の設定は、キーボードの「CPL」、「CPL」で行います。「PDL」を押すと、時間が長 くなり、「PDL」を押すと、時間が短くなります。最小約1分から最大約13分まで設定する

ことができます。



- ・ディスプレイの制御は、本機の液晶ディスプレイに対してのみ機能します。別売の CRTディスプレイ(パワーマネージメント対応のものを含む)に対しては、機能しま せん。別売のCRTディスプレイの省電力機能についてはP.26をご覧ください。
- ・Windows 95で本機能を使用する場合は、98NOTEメニューで「液晶ディスプレイ 自動停止」を設定しないで、[コントロールパネル]の[画面]アイコン [スクリーン セーバー]タブで設定してください。

#### 内蔵ハードディスク自動停止

内蔵のハードディスクのモータの制御時間を設定します。 {設定する}にしておくと、アクセスしないで設定した時間を経過すると、内蔵のハードディスクの回転を自動的に停止します。再びアクセスを行うと、自動的に回転を始めます。 時間の設定は、キーボードの「ひ」、「ひ」」で行います。「ひ」とを押すと、時間が長くなります。最小約1分から最大約13分まで設定するこ とができます。



Windows 95使用時にこの機能を有効にするには、Windowsのパワーマ ネージメント機能の[ディスクドライブ アブで設定してください( @P.28) 98NOTEメニューおよび98NOTEメニューユーティリティで設定しても Windowsでは無効になります。 CPU自動停止

バッテリで使用しているときに、消費電力を抑え、バッテリでの使用時間をのばす機能です。

ACアダプタを接続しているときには、CPU自動停止は働きません。

LCD連動サスペンド/レジューム

{使用する }にすると、液晶ディスプレイの開閉でサスペンド/レジュームすることができま す。液晶ディスプレイを閉じると、作業中の内容が自動的にサスペンドされます。また、液 晶ディスプレイを開けると、自動的にレジュームされます。



- 連続して液晶ディスプレイを開閉して、サスペンド/レジュームすると、本機に負担がかかります。フタの開閉は、サスペンドランプが点灯してから少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。
  - ・[LCD 連動サスペンド/レジューム]の設定を(使用する)にしていて、 Windows 95を終了させる場合は、本機の電源が0FFになったことを確 認してから、液晶ディスプレイを閉じてください。

オートサスペンド

オートサスペンドは、キーボードやポインティングデバイス、フロッピーディスクドライブ、ハード ディスク、プレンタ、シリアルインタフェース、赤外線通信機能などを使用しない状態で設定し た時間が経過すると、自動的に本機をサスペンド状態にする機能です。作業を再開した いときには、サスペンドスイッチを押すとレジュームされます。 時間の設定は、キーボードの「BOIL」「BOIL」で行います、「BOIL」を知まと、時間が長

時間の設定は、キーボードの「POPL」、「BOPL」で行います。「POPL」を押すと時間が長くない、 「BOPL」を押すと時間が短くなります。最小約5分から最大約29分まで設定することができます。



「オートサスペンド」はWindowsのパワーマネージメント機能の「自動中断」と同じ機能です。「オートサスペンド」と「自動中断」の設定は連動するため、あとから設定した方の内容が有効になります(『P.16)

### 入出力デバイスの設定

98スライドパッド

98スライドパッドを使用するかどうかを設定します。

{使用しない }にすると、98スライドパッドが使用できなくなり、ワープロなどのキー入力操作時の誤操作を防ぐことができます。

#### タップ&ドラッグ機能

98スライドパッドでのタップ&ドラッグの操作を有効にするかどうかを設定します。{ 無効 } にすると、タップ&ドラッグの操作ができなくなります。

「98スライドパッド」を(使用しない)に設定している場合、「タップ&ドラッグ機能」の項目 は設定できません。

キーボード指定

本機に別売の外付けキーボードを接続した場合、本機のキーボードと外付けのキーボードのどちらを使うかを設定します。

「キーボード指定」は本機に別売の外付けキーボードを接続している場合のみ設定できます。

NUMキーのロック機能

[NUM]のロック機能を使用するかどうかを設定します。 { 無効 ]にすると、[NUM]をロックできなくなり、テンキー入力モードやvfキーが使用できな くなります。

98NOTEメニューユーティリティで設定するときにNUMがロックされていると「NUM キーのロック機能」を{有効 から{ 無効 }に変更することはできません。98NOTEメニ ューユーティリティを終了させてからNUMを押してロックを解除し、再度設定してくだ さい。

赤外線通信機能

赤外線通信機能を使うとき、使用する」に設定します。 {使用しない」にすると、割り込みレベルINT1(IRQ5)が解放できます。



- ・「セキュリティの設定」で「赤外線通信機能」/0ロック」を「設定する」にして いるときには「赤外線通信機能」の項目は設定できません。
- 赤外線通信機能は、割り込みレベルINT1(IRQ5)でのみ使用できます。他の機器でこの割り込みを使用しているときには「赤外線通信機能」を(使用する)に設定することができなくなります。
- ・ { 使用する }に設定するときには、必ず INT1( IRQ5 )が解放されていること を確認してください。

### セキュリティの設定

Windows 95で1/0ロックを使用する場合には、98NOTEメニューの設定の前に「1/0 ロックを使用するときの注意 ( ごP.116 )をご覧ください。

パワーオンパスワード

パワーオンパスワードを設定すると、本機の電源をONにしたときに、パスワードの入力を 求められます。パスワードを入力しないと、本機を使用することができません。パスワード を知らない人が、無断で本機を使用するのを予防することができます。 パワーオンパスワードの設定方法はP.113、変更方法はP.114をご覧ください。



パワーオンパスワードを忘れると、本機を使用できなくなります。設定したパス ワードは忘れないよう控えておくことをおすすめします。

パスワードを忘れてしまった場合には解除処置が必要ですので、Bit-INN、 NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください(『NEC PC あんしんサポートガイド 』をご覧ください)。

- ・パスワード解除処置は保証期間内でも有償です。
- パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。

本機の購入を証明するもの(保証書等)

身分証明書(お客様ご自身を確認できるもの)

印鑑

・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の 用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。 専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に 対応いたしかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。 セットアップパスワード

セットアップパスワードを設定すると、98NOTEメニューを起動するときに、パスワードの 入力を求められます。パスワードを入力しないと、98NOTEメニューを起動することが できません。パスワードを知らない人が、無断で98NOTEメニューの設定を変えるのを 予防することができます。

セットアップパスワードの設定、変更、解除方法はパワーオンパスオンワードと同じです ( ③P.113、114 )。



- ・セットアップパスワードを設定していない場合、使用者以外が故意に、または誤ってパワーオンパスワードやセットアップパスワードを設定してしまうと、 本機が使用できなくなったり、98NOTEメニューが起動できなくなります。 このような恐れがある場合は、セットアップパスワードを設定しておいてください。
- ・セットアップパスワードを忘れると、98NOTEメニューを起動できなくなります。
   設定したパスワードは忘れないよう控えておくことをおすすめします。
   パスワードを忘れてしまった場合には解除処置が必要ですので、Bit INN、
   NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください(『NEC PC あんしんサポートガイド」をご覧ください)。
- ・パスワード解除処置は保証期間内でも有償です。
- パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。

本機の購入を証明するもの(保証書等)

身分証明書(お客様ご自身を確認できるもの)

印鑑

 パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の 用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。
 専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に 対応いたしかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。 パスワードを設定する

パワーオンパスワード、セットアップパスワードとも、パスワードの設定方法は同じです。

- オーボードの
  ↑↓を押して、設定するパスワードの種類を選びます。
- 2 キーボードの→を押して、{使用するを選びます。 画面の下部に、パスワードの入力画面が表示されます。





- キーボードからパスワードを入力します。
- ・使用できる文字は、AからZまでのアルファベットと、0から9までの数字です。アルフ ァベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは、最小1文字から最大8 文字まで入力できます。
  - キーボードのESCを押すと、パスワードの入力は中止され、{使用しない 氷に戻ります。

パスワードを入力すると、カーソルのところに「\*」が表示されます。

キーボードの 足を押します。

画面の下部に、次のように表示されます。



- 5
- 確認のため、手順3で入力したパスワードをもう一度入力します。

パスワードを入力すると、カーソルのところに「\*」が表示されます。

キーボードの 🖉を押します。

入力したパスワードが正しい場合は、「OK!」と表示されパスワードの設定が終了します。

入力したパスワードが誤っている場合は、パスワードの設定は中止され、{使用しない }に戻ります。

パスワードを変更する

パワーオンパスワード、セットアップパスワードとも、パスワードの変更方法は同じです。

- オーボードの↑↓を押して、変更するパスワードの種類を選びます。
- 2 キーボードの→を押して、{ 変更する を選びます。

画面の下部に、パスワードの入力画面が表示されます。



- 3 キーボードから、現在使用しているパスワードを入力します。 パスワードを入力すると、カーソルのところに「\*」が表示されます。
- キーボードの 湿を押します。

入力したパスワードが正しい場合は、次のように表示されます。



入力したパスワードが誤っている場合は、パスワードの変更は中止され { 使用 する }に戻ります。



キーボードから、新しいパスワードを入力します。



- ・使用できる文字は、AからZまでのアルファベットと、0から9までの数字です。アルフ ァベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは、最小1文字から最大8 文字まで入力できます。
- ・キーボードのESCを押すと、パスワードの変更は中止され、{使用する }に戻ります。

パスワードを入力すると、カーソルのところに「\*」が表示されます。

- キーボードの 🖉を押します。
- 確認のため、手順5で入力したパスワードをもう一度入力します。
- 2 キーボードの 🖉を押します。

入力したパスワードが正しい場合、画面下部に「パスワードは変更されました」と表示されてパスワードの変更が終了し、{使用する 》に戻ります。

パスワードを解除する

- 1 キーボードの↑↓を押して、「パワーオンパスワード」または、セットアップパスワード」 を選びます。
- 2 キーボードの一を押して、{使用しないを選びます。

画面の下部に、パスワードの入力画面が表示されます。

- キーボードから現在使用しているパスワードを入力します。
- ▶ キーボードの↓ を押します。

入力されたパスワードが正しい場合は、画面下部に「OK!」と表示され、パスワード が解除されます。

入力したパスワードが誤っている場合には、パスワードの解除は中止され、{使用する }に戻ります。

シリアル 1/0ロック

{設定する}にすると、次回起動時からはシリアルインターフェイスが使用できません。この 機能により、シリアルインターフェイスからプログラム、データなどが不正に流出するのを 予防できます。

この機能を使用するときは、必ずセットアップパスワードを設定してください。



別売のFAXモデムを使用してWindows 95使用時に「シリアルI/0ロック」を{設定する }にすると、FAXモデムがCOM1に自動的に割り当てられます。シリアル通信に使用 する通信ポートをCOM1に戻すには、次の方法で設定します。

- 1 [スタート Jボタン [ 設定 ] [ コントロールパネル ]の順にクリックし [ システム アイ コンをダブルクリックします。
- 2[デバイスマネージャ]タブで、使用しているモデムの型名を削除します。
- 3 98NOTEメニューで「シリアル1/0ロック」を{設定しない }に設定します。
- 4 98NOTEメニューで「赤外線通信機能1/0ロック」を(設定する)に設定します。
- 5 98NOTEメニューを終了して、Windows 95を起動します。
- 6 98NOTEメニューを起動して、「赤外線通信機能1/0ロック」を(設定しない)に設定 します。
- 7 98NOTEメニューを終了してWindows 95を起動します。

なお、割り当ててある通信ポートは次の方法で確認します。

- 1 [ スタート ボタン [ 設定 ] [ コントロールパネル 1の順にクリックし、[ システム ] アイコンをダブルクリックします。
- 2 [ デバイスマネージャ ]タブをクリックして、「ポート( COMとLPT )」で確認します。

赤外線通信機能 1/0 ロック

{設定する にすると、次回起動時からは赤外線通信機能が使用できません。この機能に より、赤外線通信を利用してプログラム、データなどが不正に流出するのを予防できます。 この機能を使用するときは、必ずセットアップパスワードを設定してください。



「入出力デバイスの設定」の「赤外線通信機能」が「使用しない」になっている ときにはこの項目は設定できません。

プリンタ I/0ロック

{設定するにすると、次回起動時からはプリンタが使用できません。この機能により、プリ ンタからプログラム、データなどが不正に流出するのを予防できます。 この機能を使用するときは、必ずセットアップパスワードを設定してください。

FD 1/0ロック

{設定する )にすると、次回起動時からはフロッピーディスクドライブが使用できません。こ の機能により、フロッピーディスクドライブを利用してプログラム、データなどが不正に流 出するのを予防できます。

この機能を使用するときは、必ずセットアップパスワードを設定してください。



Windows 3.1でFD 1/0ロックを 設定する とした場合、メモリカードは使 用できません。また、CONFIG.SYSに以下の行がある場合、この行を削除し てご使用ください。 DEVICEHIGH=A: ¥DOS¥MCDRV.SYS

#### 1/0ロックを使用するときの注意

「セキュリティの設定」で1/0ロックを設定した場合、外部記憶装置(ハードディスク、光 磁気ディスク装置等を接続しないでください。

PCカードで接続されている外部記憶装置では1/0ロック機能を使用することはでき ません。

シリアル 1/0ロック以外の1/0ロックを設定する場合には、98NOTEメニューを起動 する前に必ず次の操作を行ってください。

● [スタート」ボタン [設定][コントロールパネル」の順にクリックします。

[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

2 [システム アイコン 黒をダブルクリックします。

[システムのプロパティ]ウィンドウが表示されます。

- 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- Ⅰ/0ロックの対象となる装置にマウスポインタを合わせクリックします。
- 「 [ 削除 ボタンをクリックします。

対象となる装置が削除されます。

- [OK ボタンをクリックします。
   デバイスマネージャが終了します。
- **7** Windows 95を終了します。

誤って、上記の操作を行わずにWindows 95を起動してしまったとき、[ディスプレイ ]の競合エラーダイアログが表示される場合があります。この場合、次の操作を行ってください。

- エラーダイアログの[キャンセル]ボタンをクリックします。
- 2 [ディスプレイ]の設定ダイアログが表示されますが、そのままの状態で [0K ボタンをクリックします([0K ボタンをクリックした後、再起動を促すダ イアログボックスが表示されますが[キャンセルを選択し、再起動を行わない ようにします]。
- 3 [スタート」ボタン [設定][コントロールパネル]の順にクリックします。

[コントロールパネル ウィンドウが表示されます。

▲ [システム アイコン 黒をダブルクリックします。

[システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- **「** [ デバイスマネージャ 」タブをクリックします。
- |/0ロックの対象となる装置にマウスポインタを合わせクリックします。

7 [削除」ボタンをクリックします。 対象となる装置が削除されます。

B [OK ボタンをクリックします。デバイスマネージャが終了します。

Windows 95を終了します。

1/0ロックを{設定}の状態から{設定しない}に変更する場合は次の操作を行ってください。

- 98NOTEメニューの[セキュリティの設定]で、1/0ロックを(設定しない)にします。
- 2 Windows 95を起動します。
- 3 [スタート」ボタン [設定][コントロールパネル]の順にクリックします。 [コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。
- ▲ [ハードウェア アイコン ≪をダブルクリックします。

[ハードウェアウィザード]ウィンドウが起動します。

ハードウェアの自動検出を実行し、1/0ロックを{設定しない}に変更した装置の登録を行います。

「 [OK をクリックします。

デバイスマネージャが終了します。

- 【
  スタート ボタンをクリックし、[Windowsの終了(U).. をクリックします。
- 7 [コンピュータを再起動する(R)をクリックします。
- [OK ボタンをクリックします。

本機が再起動されます。



ハードウェアウィザード実行後再起動したあとに、本機の解像度が640×480ドットで 表示された場合は、ディスプレイアダプタが「スタンダードディスプレイアダプタ (9821シリーズ)」に変更されていることが考えられます。その場合は、『困ったときにお 読みください』をご覧のうえ、ディスプレイアダプタを本機に適したものに変更してく ださい。

# 割り込みレベル・DMAチャネル・ ROMアドレス空間

ここでは、本機内蔵の各種インターフェイスで使っている「割り込みレベル」 DMAチャネル JROM アドレス空間」について説明しています。

本機に周辺機器を接続して使用する場合は、周辺機器のインターフェイスが本機内蔵 のインターフェイスと同じ「割り込みレベル」、「DMA チャネル」、「ROM アドレス空間」 (次ページ参照 を使用しないように、設定を変更してから取り付けてください。なお、周 辺機器のインターフェイスが使用する「割り込みレベル」、「DMA チャネル」、「ROM アド レス空間」や設定の変更方法などについては、周辺機器に添付されているマニュアル をご覧ください。



割り込みレベルと1/0ポート

パーソナルコンピュータで使用できる周辺機器は、すべて「リソース」というものを使用しています。リソ ースには、大きく「割り込みレベル(IRQ)」「I/Oポートアドレス」「DMA」の3つの種類があります。 割り込みレベルのことを、Windows 95ではIRQといいます。 これは、複数の機器から同時にCPUにアク セスした際、どのような順序で処理していくかを決めるものです。 割り込みレベル DMAチャネル ROM空間アドレスの設定状況は Windowsのコントロールパネルで確認 することができます。

【スタート ボタン -[設定]-[コントロールパネル をクリックします。
 [システム]のアイコンをダブルクリックし[デバイスマネージャ ゆブをクリックします。
 [コンピュータ が反転表示されていることを確認し[プロパティ ボタンをクリックします。
 確認したいリソースのラジオボタンをクリックすると設定値の一覧が表示されます。

### 本機が使用している「割り込みレベル」

	割り込みレベル	INT 0	INT1	INT2	INT3	INT41	INT42	INT5	INT6
インターフェイス		(IRQ3)	(IRQ5)	(IRQ6)	(IRQ9)	(IRQ10)	(IRQ11)	(IRQ12)	(IRQ13)
フロッピーディスク	1 M/バイト・1 . 44 M/バイト	~	~	~	~	~			
インターフェイス	インターフェイス	×	×	×	×	×		×	×
内蔵マウスインター	-フェイス	×	×	×	×	×	×	×	
内蔵ハードディスクインターフェイス		×	×	×		×	×	×	×
MIDIインターフェイス 1		×	×	×	×		×	×	×
赤外線通信機能		×		×	×	×	×	×	×
内蔵サウンド機能 2		×	×	×	×	×	×		×
PC カードスロット <sup>3</sup>					×		×		×
PCI-1131 Card Bus Controller PCI ステアリング用IRQホルダー 4					×		×		×

: 工場出荷時の設定(変更不可)

- : 工場出荷時の設定(解放可)
- : 設定可
- x: 設定不可
  - 1:MIDI音源を使うときには、INT41(IRQ10)の割り込みを使います。PCI-1131Card Bus Controller、PCI ステアリング用IRQホルダーの割り込み INT41(IRQ10) を解放してください。
  - 2:内蔵サウンド機能の割り込みは、98NOTEメニューの「動作環境の設定」の「サウンド」を(使用しない)にする と他の機器で使えます。
  - 3:16ビットのPCカードサポートソフトウェアを使うPCカードでは、PCカードスロットを使用するアプリケーション ソフト、またはPCカードに添付のドライバで割り込みを設定してください。このとき、PCカードが使用する割り 込みをあらかじめ予約しておいてください。割り込み予約についてはWindows 95のヘルプをご覧ください。
  - 4:PCIの割り込みを管理している仮想デバイスです。

#### Card BusコントローラおよびCard Busカードの割り込みレベルの 変更手順

Card Busコントローラ(PCI-1131)およびCard Bus対応のPCカード(PC-9821-CS01/CS01Xなどの割り込みを変更する場合は必ず次の手順で行ってください。



Card Busコントローラのプロパティの リソース やグ、およびCard Busカー ドのプロパティの[リソース]タグからはIRQを変更しないでください。本機が正 常に動作しなくなります。

- 「スタート ボタン 「 設定 ]「 コントロールパネル ひ順にクリックし、「 システム アイコ ンをダブルクリックします。
- [デバイスマネージャ 汐ブをクリックし、「システムデバイス」をダブルクリックします。 2

3 「PCIステアリング用IRQホルダー」をクリックし、[プロパティ」ボタンをクリックします。

[PCIステアリング用IRQホルダー]は、PCカードのスロット0、スロット1に対してそれぞれ一つずつあります。

Card Busコントローラの設定を変更したい場合は、設定を変更したいCard Busコントローラに対応した[PCIステアリング用IRQホルダー を選択してください。

Card Bus対応のPCカードの設定を変更したい場合は、設定を変更したい Card Bus対応のPCカードを挿入しているスロットに対応した[PCIステアリング 用IRQホルダー を選択してください。

なお、Card Busカードの割り込みを変更した場合は、対応しているCard Busコントローラの割り込みも自動的に変更されます。

- 4 [リソース アブをクリックします。[自動設定 ]のチェックボックスが ☑(オン )の場合 はクリックして □(オフ )にします。
- 「 [ 設定の変更 ボタンをクリックします。

[IRQの編集」が表示されます。

「値」の項目を変更したいIRQの値に変更します。

[ 競合の情報 ]の項目に「競合デバイスなし」と表示されていることを確認して [ OK 」ボタンをクリックします。

「競合デバイスなし」と表示されていない場合は、その割り込みを設定することはできません。「競合デバイスなし」と表示される割り込みを選択してください。

- **7** [OK ボタンをクリックします。
- PCIステアリング用IRQホルダーのプロパティ Jで[OK jボタンをクリックします。
- [変更の不可の環境設定の作成」が表示された場合は、はいがタンをクリックします。

これでCard BusコントローラおよびCard Busカードの割り込みが変更されます。再起動の必要はありません。

### 本機が使用している「DMAチャネル」

D M A チャネル インターフェイス	#0	#1	#2	#3
内蔵フロッピーディスクインターフェイス				
内蔵サウンド機能				
赤外線通信機能(FIR)				

:工場出荷時の設定

### 本機が使用している「ROMアドレス空間」

インターフェイス	使用しているROMアドレス空間
ハードディスクインターフェイス	D8000h~DBFFFh
内蔵サウンド機能	CCOOOh~CFFFFh



最も競合を起こしやすいのは、本機に新しい機器を追加するときです。また、通常Windows 95は、新し い機器を見知した際にシステムの状態を調べます。新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は リソースが競合しないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイに対応していない場合 でも、リソースが競合する場合にはドライバを組み込みません。本機が起動しなくなるような競合に対し ては、二重三重の保護機能が働いています。

リソース競合の発生は、「コントロールパネル」の「デバイスマネージャ」で確認することができます。 ドライ バの異常、リソースの競合など何らかの障害があると、アイコンに「!」マークか赤い「×」マークが表示され ます。

異常が表示された場合はまずその機器のプロパティを開いてください。「デバイスの状態」の欄に、異常の原因が表示されます。異常の原因がリソースの競合であった場合は、次の方法で解決することができます。

┫ [リソース]タブを開きます。

2 「自動設定」の欄にチェックマークがついていたら、 をクリックして外します。

- 3 「リソースの種類」から競合しているリソースを選び、ダブルクリックします。
- ⊿ 表示されたリソースの設定値を、→を押して変更します。

選択した機器やリソースの種類によっては、設定値を変更できない場合があります。 その場合、競合を起 こしているもう一方の機器の設定値を変更してください。

# メモリスイッチ (98環境設定ユーティリティ)

メモリスイッチは、コンピュータ本体内の専用メモリにあるソフトウェア的なスイッチです。 98NOTEメニューと同様、本機の状態を設定することができます。通常はご購入時の状態のままで使用します。Windows 95をお使いの場合は、「98環境設定ユーティリティ」 を使ってメモリスイッチを変更することができます。 ここでは、変更する方法について説明しています。

メモリスイッチでは、次の設定を変更することができます。

・RS-232Cのボーレートなどを設定する

・起動するドライブの検索順序を変更する(BOOT装置を変更する)



SWITCHコマンドを利用すると、上記の設定に加えて、次の項目の設定を変更することができます。

- ・プリンタ
- ・画面の表示色
- ・数値データプロセッサの設定
- SWITCHコマンドは、MS-DOSプロンプト画面から次のように入力して起動します。 SWITCH 回

なお、Windows 95でSWITCHコマンドを使用するときは、MS-DOSモードから起動 してください。[MS-DOSプロンプト]ウインドウから起動しても設定は有効になりませ ん。MS-DOSモードと[MS-DOSプロンプト]ウインドウについてはP.128をご覧くだ さい。

## 98環境設定ユーティリティをインストールする..

98環境設定ユーティリティは、出荷時の状態ではインストールされていません。98環境設 定ユーティリティを利用する場合は、次の手順でインストールしてください。インストールす るには、別売のCD-ROMドライブを増設し、Windows 95がインストールされているド ライブに0.2Mバイトの空き領域が必要です。インストールする前に十分な空き領域があ るか確認してください。

- 【スタート」ボタン [設定][コントロールパネル]の順にクリックし、[アプリケーションの追加と削除アイコンをダブルクリックします。
- 2 [セットアップと削除 アブの一覧の中から ユースフルパックセットアップ をクリックし、[追加と削除 ボタンをクリックします。
- 3 [次へ ボタンをクリックします。
- 4 セットアップ方法の選択画面で、カスタムをクリックして、[次へ ボタンをクリックします。

- 5 [ユースフルパックユーティリティ をクリックし、[詳細 ボタンをクリックします。
- 6 [ファイルの種類 から 98環境設定ユーティリティ をクリックし、[ OK ボタンをクリックします。
- 増設したCD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットします。
- しばらく待ってから、次へ」ボタンをクリックして、[完了」ボタンをクリックします。再 起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。

## メモリスイッチを変更する.....



メモリスイッチの内容は、本機内蔵のリチウムバッテリによって保たれていま す。本機の電源をOFFにしたままの状態が2ヵ月ほど続くと、98NOTEメニュ ーでメモリスイッチを{初期化しない}にしていても、ご購入時の設定に戻って しまうことがあります。このような場合には、メモリスイッチを{初期化する}に設 定し、一度98NOTEメニューを終了します。メニューが終了し、本機を再起動 したら、再度メモリスイッチを{初期化しない}にしてから、メモリスイッチを設定 しなおしてください。このとき、ACアダプタを接続して本機の電源を約40時間 ONのままにして、内蔵のリチウムバッテリを充電してください。

- 98NOTEメニューを起動し、「ディップスイッチの設定」を選択します。
- 2 「SW2」の「5」を選択し、↓ でスイッチを0N(下)にします。

98NOTEメ	ニューユーティリティ	Copyright	(C) NEC Corporation xxxx			
	ディッ	プスイッチ -				
	S W1	S W 2	S W3			
	12345678 1	2345678	3 1 2 3 4 5 6 7 8			
[ном	E CLR]キーで工均	島出荷時の設定に	こ戻すことができます 			
+-:選択, +-:	:設定,ESCキー:メインメニュー	·に戻る .				

3 キーボードのESC を押してメインメニューに戻ったら、もう一度ESC を押して、 98N0TEメニューを終了させます。

- 4 Windows 95が起動したら、[スタート」ボタン [設定][コントロールパネル]の 順にクリックします。
- 5 [98環境 アイコン、愛をダブルクリックします。

[98環境の設定のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

各項目を設定します。画面上の各項目にある ▼ をクリックし、表示された中から 選択したいものをクリックします。設定を変更するごとに 更新 ボタンをクリックします。

98 環境の設定の7口パティ 98 環境		? ×
バリスイッチの変更を行いま	च.	
RS232C-0の設定 転送速度	1200BPS	<b></b>
キャラクタ長	7ビット	
ハツティ ストッフアジット	ハリティ無	
×ハ*ラメータ	)無 [無	
BOOT装置の設定 BOOT装置	<b>语</b> 注	
BOOTREL		
	OK ++>>t	2ル 更新(5)



各項目の詳細についてはアボタンをクリックしてから、目的の項目をクリックして表示されるヘルプをご覧ください。



設定を有効にする場合は、[OK ]ボタンをクリックしてください。変更しない場合 は、[ キャンセル ]ボタンをクリックしてください。

▲機を再起動させます。

[スタート」ボタンをクリックし、[Windowsの終了 をクリックします。表示された [Windowsの終了 ]ウィンドウで[コンピュータを再起動する ]をクリックして、 [はい ]ボタンをクリックします。

本機が再起動したらメモリスイッチの変更の作業は終了です。



各部の名称と役割について説明しています。

Windows 95でMS-DOSモードを
利用する
本機のお手入れ
消耗品一覧
オプション品一覧
本製品の譲渡について
本機の廃棄方法について
目的別索引
索引
機能仕様

Windows 95でMS-DOSモード を利用する

> ここでは、Windows 95でMS-DOSモードを利用するために便利な、ユーティリティや MS-DOSコマンド、ドライバの使用方法や注意事項について説明しています。

コマンド書式の説明では、次のような意味で記号を使用しています。
 >.....この中の項目は、必ず入力します。
 ].....この中の項目は、必要に応じて入力します。
 .....この記号で区切られた項目のうち、どれか一つを入力します。

## MS-DOSモードを利用する.....

MS-DOSモードを利用すると、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境で本 機を使うことができます。 MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

### 本機をMS-DOSモードで再起動する

- 「スタートボタン [Windowsの終了 ]の順にクリックします。
- **2** [MS-DOSモードでコンピュータを再起動する をクリックして、[はい ボタンをクリックします。

本機がMS-DOSモードで再起動し、次の画面が表示されます。



### MS-DOSモードを終了する

◀ コマンドプロンプトの画面から次のように入力してください。

EX I T 🖓

Windows 95が再起動します。



MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」があります。 「MS-DOSモード」は、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーショ ンと一緒に使うことはできません。 「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 95上でマルチタスクのアプリケーションとして使用でき るようにしたものです。 「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。

∦š MS-DOS 7	ከንንጉ					
自動	J		Α			
A:¥WINDOWS>						
C1	CU CA	S1 SU	VOID	NWL INS	REP	z

なお、コマンドやアプリケーションによっては、[MS-DOSプロンプト]からは使用できないものも あります。
# DOS環境設定ユーティリティ......

従来からのMS-DOSの環境やMS-DOSアプリケーションを引き続きご利用になる 方のために、DOS環境設定ユーティリティを用意しています。

DOS環境設定ユーティリティは、システム構築ファイル(CONFIG.SYS)と自動起動 ファイル(AUTOEXEC.BAT)をMS-DOSモードで快適にご利用になるための設 定を変更します。

Windows 95の起動ドライブのルートディレクトリにCONFIG.SYS、AUTOEXEC. BATを作成します。既にCONFIG.SYSが存在する場合はそれを更新します。



Windows 95は、従来のWindows 3.XのようにMS-DOSをベースに動作は していませんので、CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの設定変更による 影響はWindows 95にはありません。

#### CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATを編集する

CONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATはテキスト形式のファイルなので、[メモ帳」な どのテキストエディタで編集/更新することができます。このDOS環境設定ユーティリティ を使用すると、より簡単に編集/更新することができます。

CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの編集

DOS環境設定ユーティリティで、CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATを編集します。

編集(E)... 元に戻す(U) キャンセル 更新な

【 スタート ボタン [ 設定 ] [ コントロールパネル ]の順にクリックします。
[ コントロールパネル ]ウィンドウが表示されます。

2 [DOS環境 アイコン こをダブルクリックします。

AUTOEXEC.BAT の内容 @ECHO OFF path=A:¥JUST¥JSLIB32;A¥BITWARE¥ SET DMIDIR=a¥necdmi



[DOS環境のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

**3** [設定項目]の[CD-ROM][EMSメモリ][BREAK]を設定し、 [CONFIG.SYSの内容を変更し、[詳細」ボタンをクリックします。

[EMSメモリの設定]ウインドウが表示されます。

EMS メモリの設定	×
^*─シ*数(₽)	0 最大 896 ページまで
/E オブジョン( <u>E</u> )	使用しない
/UMB オブション( <u>U</u> )	使用しない
/HIGHSCAN オブション( <u>H</u> )	使用しない
	0K ++>th

【ページ数][/Eオプション][/UMBオプション][/HIGHSCANオプション を 設定した後、[OK ボタンをクリックします。

**5** 編集したい内容を直接入力して設定するには、[編集]ボタンをクリックします。

[CONFIG.SYSの内容 と AUTOEXEC.BATの内容 が表示されます。

編集	×	l
CONFIG.SYS の内容		
device=a¥windows¥himem.sys device=a¥windows¥emm386.exe ram devicehjsh=a¥windows¥kkofunc.sys devicehigh=A;¥WINDOWS¥COMMAND¥HRTIMER.SYS		
I AUTOEXEC.BAT の内容		
@ECHO OFF path=A¥JUST¥JSLIB32,A;¥BITWARE¥ SET DMIDIR=a;¥necdmi	-	
	Þ	
[1米1字]	キャンセル	

入力した変更内容を有効にするには、保存」ボタンをクリックします。

[DOS環境のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

7 今までのCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの設定を有効にする場合は、 [OK ボタンをクリックします。また、もとに戻す場合は、[元に戻す ボタンをクリック します。



上記の設定は次回MS-DOSモード起動時より有効です。

CONFIG.SYSの設定内容

CONFIG.SYSは、MS-DOSモードで使用するハードウェアの構成やメモリの環境を 設定するファイルです。 CONFIG.SYSは、Windows 95の起動するドライブのルートディレクトリに作成されます。CONFIG.SYSの設定項目については、次のとおりです。

#### CD-ROM

MS-DOSモードで使用するCD-ROMのドライバを組み込みます。次の書式で指定されます。

DEVICE=A: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥NECCD.SYS /D:CD\_101

オプションスイッチ	機能
/D:CD_101	CD-ROMを使用するための指定をします。



外付けのCD-ROMドライブを使うときには使用するCD-ROMドライブに応じてCONFIG.SYSを設定してください。

 MS-DOSモードでCD-ROMを使用するには、CD-ROMドライバを組み 込んだ後に、MSCDEX.EXEを実行する必要があります。
 ただし、AUTOEXEC.BATにMSCDEX.EXEの記述を入れないでくだ さい(MSCDEXはコマンドラインから実行するか、または DOSSTART.BATに記述します)。

<書式例>

A:¥WINDOWS¥COMMAND¥MSCDEX.EXE /D:CD\_101 なお、Windows 95用のCD-ROMドライバがインストールされていなけれ ば、CD-ROMのチェックボックスは選択できません。

#### BREAK

プログラムまたは処理の実行を中止するCTRL+Cの機能を、ディスクを対象とした読み書き作業などに拡張したり、設定の解除をします。次の書式で指定されます。 BREAK=[ ON | OFF ]

オプションスイッチ	機能
0 N	プログラムまたは処理の実行を中止する機能を拡張します。
OFF	拡張する設定を解除します。

#### EMS メモリ

プロテクトメモリをEMSメモリとして使えるようにします。また、コンベンショナルメモリ を節約するために、UMBメモリを使用できます。次の書式で指定されます。 DEVICE=A:¥WINDOWS¥EMM386.EXE [RAM | /P=XXX | /E=XXXX-YYYY | /UMB | /HIGHSCAN ]

オプションスイッチ	機能
RAM	上位メモリの未使用メモリ領域をコンベンショナルメモリのように利用できます。
/ P = X X X	使用するページ数を指定します。指定できる範囲は、0~664です。
/ E = X X X X - Y Y Y Y	UMBとしてアロケートしない範囲を設定します(MS-DOSと同様)。
/ U M B	RAMと同等です。
/ H I G H S C A N	RAMまたはUMBと同時に指定し、上位メモリの未使用メモリ領域をチェックします。

付録

# USKCGM コマンド.....

USKCGMコマンドは、ユーザが定義する文字パターン(ユーザ定義文字、または外字) を作成したり、ファイルへの保存やファイルから読み出したりするユーティリティです。また 文字パターンをメモリに読み込んだり、プリンタに送って印字したりすることもできます。

USKCGMコマンドの書式

USKCGMコマンドは、次の書式でコマンドプロンプトから実行します。 USKCGM [[ <ドライブ名: > ] <パス名> ]<ファイル名> ] / P ] <ファイル名>を指定すると、指定されたファイルを外字ファイル(ユーザ定義文字パター ンを格納したファイル として読み込み、その内容をパーソナルコンピュータ本体内のメ モリに登録します。また、すべてのパラメータを省略すると、機能を選択するメニューが表 示されます。

USKCGMコマンドのオプションスイッチ

オプションスイッチ	機能
/P	<ファイル名> で指定した外字ファイルの内容をプリンタに送ります。 以後そのプリンタはその文字パターンを印字できるようになります。

USKCGMコマンドを使用する

ここでは、メニューを利用してUSKCGMコマンドを実行します。

#### USKCGMコマンドの起動

コマンドプロンプトからUSKCGMコマンドを起動します。

- 【 スタート ボタン [ プログラム ] [ MS DOS プロンプト ]の順にクリックします。 MS - DOSのコマンドプロンプトが表示されます。
- 2 コマンドプロンプトから次のように入力します。

USKCGM 🖉

ユーザ定義文字管理ユーティリティ(USKCGM)が実行されます。 ユーザ定義文字管理ユーティリティの機能を選択するメニューが表示されます。

	Copyright (C) NEC Corporation XXXX,XXXX -			
成形进步				
	ユーザー定義文字ファイルの作成			
	ユーザー定義文字ファイルの更新			
	システムの更新			
	システムへの登録			
	ブリンタへの登録			
	終了			
矢印キーで項日を選択し、リターンキーを押してください				
XIII CALCA	20/07 // // C//0 C//CC//			

ユーザ定義文字ファイルの作成

ユーザ定義文字ファイルを作成します。

- ¶ 機能選択画面で、[ユーザ定義文字ファイルの作成]にキーボードの↑↓で合わせた後、砂を押します。
  - ユーザ定義文字ファイルの作成画面が表示されます。



2 ユーザ定義文字ファイルの作成画面で、[文字パターンサイズ ] 出力ファイル 名 を設定します。

- 3 ユーザ定義文字ファイルの作成を確認するメッセージが表示されますので、確認の後キーボードの[Y] 』を押してください。ユーザ定義文字ファイルが作成されます。
- ユーザ定義文字ファイルの更新

ユーザ定義文字ファイルを更新します。

**1** 機能選択画面で、[ユーザ定義文字ファイルの更新]にキーボードの①①① で合わせ、 砂を押します。

ユーザ定義文字ファイルの更新画面が表示されます。

ſ	′ ∪ѕксам⊐マ	ンド Ver.X.X	x		~		
	ユーザー定義文字フ	アイルの更新	Copyright (	C) NEC	Corporation	XXXX, XXXX	-
	入力対象	ファイル					
	入力ファイル名	¥USKCG16. SYS					
	出力ファイル名	¥USKCG16, SYS					
	<ul> <li>矢印キーで入力対象:</li> <li>(ESCキーを押す)</li> </ul>	を選択し、リターンキ と処理を中止し、機能	ーを押してく 選択画面に戻	ださい ります)			
l							)

- 2 ユーザ定義文字ファイルの更新画面で、[入力対象][入力ファイル名][出力ファイル名 を設定します。
- 3 ユーザ定義文字ファイルの更新を確認するメッセージが表示されますので、確認 の後キーボードの[Y]、』を押します。

ユーザ定義文字ファイルが更新されます。

#### システムの更新

システムを更新します。

【 機能選択画面で、[システムの更新 ]こキーボードの↑↓で合わせ、
●を押します。システムの更新画面が表示されます。





システムの更新画面で、システムの更新を設定します。

3 システムの更新を確認するメッセージが表示されますので、確認の後キーボードの「Y」』を押します。

システムが更新されます。

付録

#### ユーザ定義文字ファイルのシステムへの登録

ユーザ定義文字ファイルをシステムに登録します。

¶ 機能選択画面で、[システムへの登録]にキーボードの↑↓で合わせ、@を押します。

システムへの登録画面が表示されます。

/  システムへの登録	Ver.X.XX —————————————————————————————————	) NEC Corporation XXXX,XXXX -
入力ファイル名 ¥USKCG16	YS	
登録するファイル名を入力してく (ESCキーを押すと処理を中」 、■	ださい(省略した場合は し、機能選択画面に戻り	tuskogi6. sysとなります) !ます)



システムへの登録画面で、[入力ファイル名 を設定します。

3 システムへの登録を確認するメッセージが表示されますので、確認の後キーボードの[Y][』を押します。

ユーザ定義文字がシステムへ登録されます。



ユーザ定義文字をシステムへ登録するには、コマンドプロンプトから次のよう に入力する方法もあります。

USKCGM <ドライブ名> <パス名> <入力ファイル名> 🕗

ユーザ定義文字ファイルのプリンタへの登録

ユーザ定義文字ファイルをプリンタに登録します。

1 機能選択画面で、[プリンタへの登録 ]こキーボードの↑↓で合わせ、
します。

プリンタへの登録画面が表示されます。



- 2 プリンタへの登録画面で、[入力ファイル名を設定します。
- 3 プリンタへの登録を確認するメッセージが表示されますので、確認の後キーボードの「Y」』を押します。

ユーザ定義文字がプリンタへ登録されます。



ユーザ定義文字をプリンタへ登録するには、コマンドプロンプトから次のよう に入力する方法もあります。

USKCGM <ドライブ名> <パス名> <入力ファイル名> /P 🕗

# マルチメディア機能の利用・・・・・・・・・・・・・・・

MS DOSモードでマルチメディアアプリケーションを利用する場合は、マルチメディア 対応ドライバ(拡張グラフィックドライバと拡張サウンドドライバ)を、必要に応じて組み込ま なければなりません。

拡張グラフィックドライバを組み込むと、256色を使用したグラフィックが描画できるよう になります。また、拡張サウンドドライバを組み込むと、FM音源6音、SSG音源3音、リズ ム音源6音を使用する音楽演奏や、録音、再生を行うアプリケーションを利用できるように なります。組み込みには、次の3つの方法があります。

- ・コマンドプロンプトから常駐プログラムとして組み込む
- ・ADDDRVコマンドでデバイスドライバとして組み込む
- ・ CONFIG SYSファイルでデバイスドライバとして組み込む

ここでは、それぞれの組み込む手順を説明します。

#### コマンドプロンプトから常駐プログラムとして組み込む

MS-DOSモードのコマンドプロンプトからマルチメディア対応ドライバを常駐プログラムとして組み込む方法と、必要がなくなったときに常駐を解除する方法を説明します。

拡張グラフィックドライバ(AVGDRV EXE)を組み込む

コマンドプロンプトから次のように入力します。入力後は、AVGDRVが組み込まれて常 駐します。

AVGDRV 🖓

#### 拡張サウンドドライバ(AVSDRV EXE )を組み込む

コマンドプロンプトから次のように入力します。入力後は、AVSDRVが組み込まれて常 駐します。

AVSDRV 🚽

#### プログラムの常駐を解除する

組み込んだドライバが必要でなくなれば、組み込んだ逆の手順で次のように入力して常 駐を解除します。

AVSDRV / R ᅰ AVGDRV / R 쉐



 コマンドプロンプトから組み込んだものは、DELDRVを使って解除すること はできません。

- 拡張グラフィックドライバの組み込み、および解除は、Windows上の[MS DOSプロンプト」からは行わないでください。Windowsを実行中の場合は、 かならず終了させてから行ってください。
- ・拡張サウンドドライバでは、拡張FM音源機能はご利用になれません。

拡張グラフィックドライバと拡張サウンドドライバの書式

・拡張グラフィックドライバの書式

AVGDRV [/E][/C][/S][/R]

- /E ドライバの一部をEMSメモリに読み込み、メインメモリの消費を抑えます。
- /C 数値演算コプロセッサを使います。数値演算コプロセッサが実装されている場合 にのみ指定できます。
- /S 設定系の機能のみを組み込み、描画系の機能は組み込みません。
- /R 常駐を解除します。ただし、ADDDRVコマンドやCONFIG SYSファイルで組 み込んだものは解除できません。

・拡張サウンドドライバの書式

AVSDRV [/E][/F][/P][/R]

- /E ドライバの一部をEMSメモリに読み込み、メインメモリの消費を抑えます。
- /F FM音源機能のみを組み込みます。
- /P PCM音源のみを組み込みます。
- /R 常駐を解除します。ただし、ADDDRVコマンドやCONFIG SYSファイルで組み込んだものは解除できません。



拡張グラフィックドライバおよび拡張サウンドドライバの組み込みにあたって、/Eスイッチを指定する場合は、次の条件を満たしている必要があります。

・あらかじめEMSドライバを組み込んであること

- ・ページフレームがCOOOH~CFFFHの連続した64Kバイトであること
- ・連続した4ページ以上のEMSメモリが使用可能なこと

#### ADDDRVコマンドでデバイスドライバとして組み込む

次のADDDRV 定義ファイルを作成することで、マルチメディア対応ドライバを ADDDRVコマンドにて組み込むことができます。 なお、/R以外のスイッチ(/E、/F、/P、/C、/S を指定して組み込むこともできます。 ファイル名[ADDAVD.DEV] DEVICE=AVSDRV SYS [/E][/F][/P] DEVICE=AVGDRV SYS [/E][/C][/S]

- 「AVSDRV SYS」と「AVGDRV SYS」のあるディレクトリを、CDコマンドを使って、カレントディレクトリにします。
- 2 コマンドプロンプトから、次のように入力します。

ADDDRV ADDAVD DEV 🚚

組み込んだドライバが必要なくなったときは、コマンドプロンプトから次のように入力します。

DELDRV 🔊

#### CONFIG SYSファイルで、デバイスドライバとして組み込む

CONFIG SYSファイルに変更を加えることで、マルチメディア対応ドライバを組み込むことができます。

次の書式を メモ帳 プロDOS環境設定ユーティリティ などのテキストエディタを利用して、CONFIG SYSに記述します。

なお、/R以外のスイッチ(/E、/F、/P、/C、/S を指定して組み込むこともできます。

DEVICE=¥WINDOWS¥COMMAND¥AVSDRV SYS [/E][/F][/P] DEVICE=¥WINDOWS¥COMMAND¥AVGDRV SYS [/E][/C][/S]

# 日本語入力機能.....

[MS-DOS プロンプト]上ではWindows 95のかな漢字変換またはDOSかな漢字変換を使用し、日本語の入力が行えます。DOSかな漢字変換が組み込まれていない場合は、自動的にWindows 95のかな漢字変換が動作し、入力できるしくみになっています。DOSかな漢字変換の組み込み方法は次のとおりです。

【
スタート ボタン [ プログラム ] [ MS - DOS プロンプト ]の順にクリックします。

2 [プロパティボタン
をクリックします。

MS-DOS プロンプトのプロパティ 	?   × /   その他
MS	MS-DOS วโปววไ
	A:#WINDOWS¥COMMAND.COM
作業ディレクトリへ並の	A.¥WINDOWS
ハ <sup>ッ</sup> ッチ ファイル( <u>B</u> ):	
アクセス キー( <u>S</u> ):	なし
起動時の大きさ( <u>R</u> ):	通常のケイントゥ
	▶ プログラム終了時にウィントウを閉じる⊗
MS-DOS 用の日本語 「MS-DOS プログラム こ	入力システムを使用するにコよ、ヘルブのトラブルシューティングの 関する問題」を参照してください。
	詳細設定(1) アイコンの変更(2)
	OK キャンセル 更新(g)

[MS-DOS プロンプトのプロパティ ウィンドウが表示されます。

- 3 [プログラム ]タブをクリックし、[バッチファイル ]こ次のように入力します。 DOSIME.BAT
- \_\_\_\_\_ [OK ボタンをクリックします。

NECAI DOSかな漢字変換はWindows 95のNECAIIME95と辞書を共有して おり、登録した単語や学習情報をそのまま使用することができます。辞書を切り替えたい 場合は、Windows 95のNECAIIME95、環境設定の[辞書]タブで行ってください。 なお、Windows 95がインストールされているドライブ(通常は「A:」)のルートディレクトリ にあるDOSIME.SYSファイル(ADDDRV用定義ファイル)の内容を書き替えれば、 お好みのDOSかな漢字変換に変更することもできます。



- Windows 95上でWindows 3.1のかな漢字変換をお使いの場合は、
   [MS-DOSプロンプト]ではDOSかな漢字変換による日本語入力しか行えません。
- ADDDRVによりMS-DOSかな漢字変換を組み込む場合は、Windows 95用の「KKCFUNC.SYS」を使用してください。通常「KKCFUNC.SYS」 は、WINDOWSディレクトリにあります。なお、従来のMS-DOS用 KKCFUNC.SYSは使用できません。

# CD-ROMドライバ.....

MS-DOSモードで外付のCD-ROMドライブを使用するには設定が必要です。本機で CD-ROMドライブをMS-DOSモードで使用するには次の手順で行ってください。



・次の作業を行う前に、本機にSCSIカードを接続した上でSCSIカードドライバの設定を行ってください。

- CONFIG.SYSはDOS環境設定ユーティリティで編集できます( 了P.130 )。
   DOSSTART. BATの編集については「ファイルを編集する ( 了P.145 )をご覧ください。
- 【
  スタート ボタン [ プログラム ] [ MS DOS プロンプト ]の順にクリックします。
- 2 コマンドプロンプトから次のように入力します。
  - CD ¥WINDOWS¥COMMAND

カレントディレクトリが変更されます。

3 次のように入力してNECCDB.SYSのファイル名をNECCD.SYSに変更して ください。

COPY NECCDB.SYS NECCD.SYS

CONFIG.SYSに次の内容を追加し、接続されているCD-ROMドライブに対応したCD-ROMドライバを登録します(Windows 95がインストールされているドライブおよびディレクトリをA:¥WINDOWS、インストールしたCD-ROMドライバをNECCD.SYSとします)。

<追加する内容> DEVICE=A: ¥WINDOWS¥COMMAND¥NECCD.SYS /D:CD\_101

5 Windows ディレクトリ内のDOSSTART.BATに次の内容を追加します(CD-ROMを割り当てるドライブをQドライブとします)。

<追加する内容> A:¥WINDOWS¥COMMAND¥MSCDEX /D:CD 101 /L:Q

- [Windowsの終了 から コンピュータを再起動する を選択し、本機を再起動してください。
- 7 [Windowsの終了 から[MS-DOSモードでコンピュータを再起動する を選択 するか、[MS-DOSプロンプトのプロパティ]ウィンドウの詳細設定で、[MS-DOS モード をクリックして[現在のMS-DOS設定を使う を ○(オン)に設定し、MS-DOSプロンプトを起動します。

#### CD-ROM ドライバの注意事項

インストール時に2種類以上のドライバを同時に選択した場合、ドライバが正しくインストー ルされないことがあります。必ず1種類のみ選択してください。

### ファイルを編集する

CONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATは DOS環境ユーティリティを使って簡単に編集することができます (CFP.129) その他のファイルは、メモ帳やワープロなど、テキストデータを扱うことができるソフトウェ アで編集します。

ここでは、DOSSTART.BATファイルをメモ帳で編集する方法を、例をあげて説明します。

- 【スタート jボタン -[ プログラム ]-[ アクセサリ]-[ メモ帳 ]の順にをクリックします。
- 🔁 [ ファイル 沙ニューの[ 開く をクリックします。
- 🖪 「ファイルの種類」を すべてのファイル(\*.\*)]にします。
- Ⅰ [ファイルの場所]c[A:¥WINDOWS]を選択します。
- 「「Dosstart.bat をクリックして、[開く ボタンをクリックします。

DOSSTART.BATファイルが表示されます。

🚰 ファイルを編集します。ファイルの編集にはキーボードを使用します。





▶ ファイルの編集が終了したら、[ファイル ]メニューの[メモ帳の終了]をクリックします。

💂 変更を保存するかどうかを選択する画面が表示されたら、[ はい ]ボタンをクリックします。

メモ帳が終了し、DOSSTART.BATの内容が変更されます。

# 本機のお手入れ

# ⚠警告



雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の 接続や取り外しを行わないでください。

落雷による感電のおそれがあります。

### 



お手入れの前には、本機の電源をOFFにして電源コードを抜い てください。 電源コードのプラグがACコンセンHに接続されたままお手入れすると、感電の



電源コードのプラグにほこりがたまった状態で本機を使用しないでください。

電源コードのプラグにほこりがたまったまま長い間清掃しないと、プラグのピンの間で放電 (トラッキング現象)が起こり、火災の原因となります。

#### 電源コード

原因となります。

電源コードのプラグを長時間ACコンセンHに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがありますので、定期的に清掃することをおすすめします。

#### 本機外側

乾いたきれいな布で拭いてください。

汚れがひどい場合は、水か中性洗剤を布に含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

・水や中性洗剤は、絶対に本機に直接かけないでください。故障の原因とな ります。

・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しな いでください。本機の外装を傷めたり、故障の原因となります。

## 液晶ディスプレイ

乾いた柔らかいきれいな布で、軽く拭いてください。



・水や中性洗剤は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。 ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しな いでください。液晶ディスプレイを傷めたり、故障の原因となります。

# フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクドライブは、ひと月に一回程度を目安として、清掃することをおすすめします。

フロッピーディスクドライブの清掃用として、クリーニングディスクがあります(別売)。 クリーニングディスクについては、ご購入元またはNECサービスセンター、サービスステ ーションにお問い合わせください。

キーボード

乾いたきれいな布で拭いてください。

汚れがひどい場合は、水か中性洗剤を布に含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

キーのすきまにゴミなどが入った場合は、掃除機で吸い出すなどして、取り除いてください。ゴミがとれない場合は、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。



- ・水や中性洗剤は、絶対にキーボードに直接かけないでください。故障の原因となります。
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しな いでください。本機の外装を傷めたり、故障の原因となります。

### スライドパッド

パッド上に汚れが付着した場合は、乾いたきれいな布で軽く拭いてください。 汚れがひどい場合は、水かうすめた中性洗剤を布に含ませ、かたくしぼってから拭き取 ってください。



- ・水や中性洗剤は、絶対に本機に直接かけないでください。故障の原因とな ります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しな いでください。パッドを傷めたり、故障の原因となります。
- ・水や中性洗剤を使用した場合、乾いてから操作してください。濡れたままだと、マウスポインタが移動しなくなる場合があります。



本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一 般的には再生が不可能なもので、お客様ご自 身で購入し、交換していただくものです。保証 期間内であっても、有料です。	バッテリパック フロッピーディスク(媒体) CD-ROM(媒体)
消耗部品(有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、摩 耗、または劣化し、修理再生が不可能な部品 です。NECサービスセンター、サービスステー ションなどで交換し、お客様に部品代を請求 するものです。保証期間内であっても、有料 の場合があります。	液晶ディスプレイ

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。 また、再入手可能な添付品は次のとおりです(有料)。

・フロッピーディスク(媒体)

・CD-ROM(媒体)

# オプション品一覧

#### 本機に接続できる代表的なオプション品は次のとおりです。

	型名	品名	仕様
	PC-9821NR-B01	増設RAMボード(8MB)	本体中の増売PAMボード田コンクタに
増設メモリ	PK-UG-M009	増設RAMボード(16MB)	本体内の増設 (AM かー) 用コネクタに 実装可能
	PK-UG-M010	増設RAMボード(32MB)	关表引能
ACアダプタ	PC - VP - WP01	ACアダプタ	本体に1個標準添付
バッテリ	PC-9821NR-U02	バッテリパック(ニッケル水素)	バッテリスロットに実装可能
CD-ROMドライブ	PC-9821N-CD01X	CD-ROMユニットパック	
	PC-9801N-J03R	SCSIカード	
	PC-9801N-J09	R8100インタフェースカード	
	PC-9801N-J12X*1	B4680 インタフェースカードT	
	PC-9801N-J13X	デジタルセルラカード9600	
	PK-UG-J001	LAN&FAXモデムカードセット	本体内のPCカードスロットに実装可能
	PK-UG-J002	FAX モデムカードセット	
	PK-UG-J003	SCSIカード	
	PC-9821-CS01X	100BASE-TX インタフェースカード	
	PC-9821-CS02X	ビデオキャプチャカード	
	PC-9821-CS0201X	TVチューナアダプタ	ビデオキャプチャカード(PC-9821-CS02)
			専用TVチューナ
	PC-FH02L/FH04L	フラッシュメモリカード	
	FH10L/FH20L/FH40L	(容量:2MB/4MB/10MB/20MB/	本体内のPCカードスロットに実装可能
		40MB)	
	PC-9801N-J03-01	SCSI機器接続用ケーブル	ピンタイプのSCSI 周辺機器接続用
	PC-9821N-K04	RS-232C変換ケーブル	D-Sub25ピン ハーフピッチ14ピンコネクタ変換用
	PC-9821N-K05	RS-232Cケーブル(リバース)	ハーフピッチ14ピンコネクタを持つPC本体との接続用
	PC-9821N-K07	MIDI/JOYSTICK変換ケーブルA	MIDI対応機器、ジョイスティック接続用
	PC-9821N-K08	MIDI/JOYSTICK変換ケーブルB	(ケーブルBはプリンタと併用可)
ケーブル	PC-CA202	プリンタケーブル	ケーブル長:1.5m, ハーフピッチ36ピン
	PC-CA204	プリンタケーブル	ケーブル長:4m , ハーフピッチ36ピン
	PC-98HA-15	RS-232Cケーブル(ノーマル)	D-Sub25ピンコネクタを持つモデム等との接続用
	PC-98HA-16	RS-232Cケーブル(リバース)	D-Sub25ピンコネクタを持つPC本体との接続用
	PK-UG-J003-01	SCSI 機器接続用ケーブル	
	PK-UG-J003-02	SCSI機器接続用ケーブル	
マウス	PC-H98-U01	マウス	マウス用コネクタに接続可能
キーボード	PC-9801-106	98標準キーボード	キーボード田コネクタに接続可能
	PC-9801-119	98標準キーボード(95)	
テンキー	PC-9801N-23	テンキーボード	ファンクションキー付
海見プロジェクタ	PC-PJ631	View Light S800	800×600ドット対応 1,024×768ドット簡易表示可能
12日ノロンエンタ	PC-PJ612	View Light V600	640 × 480 ドット対応800 × 600 ドット簡易表示可能

\*1:PC-9801N-J12Xを使用する際はP.52の手順に沿ってドライバをインストールしてください。

# 本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きに従って、登録内容の変更を行ってください。

#### 譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡、売却、される場合は、次の条件を満たす必要があります。

本体に添付されている全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること (本体に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください)

#### 譲渡を受けられるお客様へ

NECからお客様へお知らせを送付することがありますので、必ず登録内容の変更に必要な次の事項を記入し、ハガキまたはFAXでご連絡ください。

また、インターネットに接続されている場合は、インターネットから登録することもできます。詳 しくは、980FFICIAL PASS お客様登録カウンター(http://www.pc98.nec.co.jp/ register/ を参照ください。

ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

記載内容

本体保証書番号(製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No. (いずれのソフトも同一)

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-0014 東京都港区芝五丁目7番1号 NEC 980FFICIAL PASS登録センター係行

# 本機の廃棄方法について

本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



バッテリパック、サブバッテリは、本機から取り外して、地方自治体の条例に従って廃棄してください。

# バッテリパックの廃棄について.....

本機に添付されているバッテリパックは、ニッケル水素バッテリです。本機から取り外して廃棄してください。バッテリパックの取り外し方は、P.11をご覧ください。



# サブバッテリの廃棄について.....

本機には、サブバッテリ、ニッケル水素バッテリが内蔵されています。サブバッテリは、本機から取り外して廃棄してください。

## サブバッテリの取り外し

サブバッテリは、次の手順で取り外してください。



サブバッテリの取り外しには+( プラス )ドライバが必要です。



濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。 本機のお手入れ

- ✓ 本機の電源をOFFにして、電源コードのプラグをACコンセントから取り外します。
- 2 ACアダプタを本機から取り外します。
- 3 本機にケーブル類が接続されている場合はすべて取り外します。
- ▲ 本機のフタ 液晶ディスプレイ を閉じて本機を裏返します。
- 5 バッテリパックが取り付けられている場合は取り外します。

図の位置のネジ1カ所をプラスドライバで取り外します。



7 カバーを取り外します。



カバーの裏側にサブバッテリが接着されているのではがして捨てます。

付録

# 目的別索引

### 本機を手入れする

液晶ディスプレイを手入れする14	6
キーボードを手入れする14	7
スライドパッドを手入れする14	7
フロッピーディスクドライブを手入れする 14	7
電源コードを手入れする14	6

# 本機の機能を使いこなす

各部の名前と役割
コネクタやボタンの位置2
キーの名前と働き5
表示ランプ4
フロッピーディスクドライブ6
サウンドを楽しむ
本機で使えるサウンド
サウンドデバイスを切り替える
MIDI音源を使う39
音量を調節する 36
トーンを調節する38
サウンドドライバの注意50
外部オーディオ機器を接続する91
マイクロホンを接続する91
ヘッドホンを接続する91
バッテリで本機を使う
バッテリを充電する8
バッテリの充電時間 159
バッテリ残量を確認する10
バッテリでの使用時間 159
バッテリの交換時期 11
バッテリを交換する11
本機で使えるバッテリパック11、149
省電力で使う 25
サスペンド/レジューム機能を使う
サスペンドする方法14
レジュームする方法14
サスペンドできないとき17
ハイバネーション機能を使う
ハイバネーションの設定をする19
ハイバネーション機能を使う21
大切なデータを守る
セキュリティ機能の使い方 29

セットアップパスワード	29、	112
パワーオンパスワード	29、	111
I/0ロック	29、	115
パスワードを設定する		113
パスワードを変更する		114
パスワードを解除する		115
省電力で本機を使う		
CPUの節電	25、	109
ハードディスクの節電	28、	108
ディスプレイの節電	26、	108
98NOTEメニューで設定できる省電力.		107
表示のしかたを変える		
本機で表示できる解像度と表示色		42
密度変換機能を使う		88
出力先を切り替える		87

## 周辺機器を使う

本機で使える周辺機器 46
周辺機器用のドライバ 49
周辺機器用のドライバの状態を調べる54
周辺機器を接続するケーブル 48
紙に出力する
プリンタを接続する55
プリンタの設定をする56
プラグ&プレイ対応プリンタを使う60
ネットワーク上の共有プリンタを使う61
メモリ容量を増やす
利用できる増設メモリを確認する149
増設RAMボードを取り付ける63
増設できたかを確認する67
他の入力装置を使う
キーボード/テンキーボードを使う90
マウスを使う90
オーディオ機器を使う
ヘッドホンを使う91
マイクロホンを使う 91
外部オーディオ機器を使う91
音量を調節する 36
大きな画面に表示させる
ディスプレイを接続する81
テレビを接続する83
表示できる解像度と表示色を確認する42、79
ディスプレイに合わせて設定をする85

フルスクリーン表示に切り替える80
表示先を切り替える 87
省電力機能を使う 25、108
密度変換ユーティリティを使う 88
PCカードを使う
PCカードの出し入れ70
PCカードサポートソフトウェアの設定をする 73
MIDI機器を使う
MIDI機器を接続する89
サウンドデバイスを選択する
ジョイスティックを使う 89

## 本機の設定を変更する

98NOTEメニュー
98NOTEメニューを起動する
98NOTEメニューユーティリティを起動する . 98
98NOTEメニューを操作する101
各メニューの詳細102
メモリスイッチ
98環境設定ユーティリティをインストールする 123
メモリスイッチを変更する124
割り込みレベル・DMAチャネル・ROMアドレス空間
設定を変更する119

# 別売の機器について

本機で使える別売の機器							149
消耗部品について							148

# 本機が不要になったとき

本機を譲渡するには	 150
本機を廃棄するには	 151



## ア

ウィンドウアクセラレータ機能 42
液晶ディスプレイ 2
液晶ディスプレイ自動停止26、108
液晶プロジェクタ 80
オートサスペンド
オーディオ出力端子3、91
オーディオ入力端子3、91
オプション品一覧 149
音量調節つまみ3、36

# カ

解像度	
外部オーディオ機器	
かなキー	5
かなキーロックランプ	4
輝度調節つまみ	2
キーボード	2、5、90、110
キーボード用コネクタ	
キャップスキー	5
キャップスキーロックランプ	4
クリックボタン	
ケーブル	

# サ

サウンド機能 36、102
サウンドデバイス
サウンドドライバ 50
サフペンド 11
サスペンドランノ 4
サスペンドスイッチ
サブバッテリ151
自動中断
周辺機器
省電力機能 25、107
省電力モード
ジョイスティック 89
譲渡について150
消耗品一覧
シリアルコネクタ
シリアル 1/0ロック 115
7ピーカ 2
亦外線通信小一ト 3、34
赤外線通信機能 32、110
赤外線通信機能1/0ロック
セキュリティ機能 20 111
セットアッノハスワート
増設RAMボード62

# タ

ディスクドライブの省電力モード 28
ディスプレイ 79
ディップスイッチ 105
テレビ 83
テンキーボード
トーン
電源スイッチ 2
電源ランプ 4
動作環境の設定102
盗難防止用ロック 2、3
ドライバ

# ナ

内蔵ハードディスク自動停止	 	 	 	 . 28、	108
入出力デバイスの設定	 	 	 	 	109

# ハ

廃棄について151
ハードディスク
ハードディスクアクヤスランプ 4
ハイバネーション機能 10
バッテリム 雪 シプ () () () () () () () () () () () () ()
ハッテリ
バッテリリフレッシュモード
パワーオンパスワード
ビデオ出力用端子3、84
表示色
表示ランプ 2、4
ファン
フォーマット
プリンタ 55
J'   D / Q   / 0 D / Q / 116
プリンクロコネクタ 255
20027 mar/2
フロッヒーティスクアクセスランフ4
ヘッドホン出力端子 3、91

## マ

マイクボリューム	. 102
マイクロホン	2、91
マイクロホン端子	3
マウス	90
マウス用コネクタ	3、90
密度変換ユーティリティ	88

メモリ容量67、158
ヤ
ユーザーズメモリ
<u> </u>
レジューム 14
ワ
 割り込みレベル119

メモリスイッチ ...... 123

	<u> </u>	
	<u>2X</u>	-
$\overline{}$	<b>ZX</b>	-

16Mバイトシステム空間	103
16ビットPCカード	73
32ビットPCカード	73
98スライドパッド	2、109
98NOTEメニュー	
98NOTEメニューユーティリティ	
98環境設定ユーティリティ	123
ADDDRVコマンド	140
AUTOEXEC.BAT	130
A V G D R V . E X E	140
A V S D R V . E X E	140
CAPS キーロックランプ	4
Card Bus	69
CPU自動停止	25、109
CPUの速度調整	25
CONFIG.SYS	130
CRT 用コネクタ	3、81
CRT ディスプレイ	82
DCコネクタ	2
DMA チャネル	119
DOS環境設定ユーティリティ	130
FD 1/0 <b>בשיל</b>	116
FM音源	
Hibernation設定ユーティリティ	19
1/0ロック	29、115
LCD連動サスペンド/レジューム	109
MIDI 音源	39、89
MIDI 対心機器	89
	103
	128
	110
NUMキーロックランフ	4
	69
	3, 71
PU <b>カードケホートソフトワェノ</b>	73

PCカードスロット	3,70
PC Card Standard	69
PCM録音/再生機能	36
ROMアドレス空間	119
TranXit	32
USKCGMコマンド	134
ZVポート	69

# 機能仕様

モデル			PC-9821Nr150/S20		
СР	U		MMX® テクノロシPentium®プロセッサISOMHz キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ256Kバイト		
<u> </u>	ROM		BIOS 、98NOTEメニュー 128Kバイト		
モリ	RAM		搭載メモリ32Mバイト(最大64Mバイトまで増設可能) *ユーザーズメモリ31.6Mバイト(最大63.6Mバイト)		
	ビデオ	RAM	2Mパイト		
	表示素	子	バックライト付 12.1インチTFTカラー液晶ディスプレイ <sup>1</sup>		
ディ	テキス	ト表示	英数カナ80文字×25行、80文字×20行 / 漢字40文字×25行、40文字×20行いずれか選択 文字単位にリバース、ブリンク、シークレット指定可能、カラー8色表示(キャラクタ単位に指定可)		
・スプレイ	グラフィック表示 		640×400ドット 4,096色中16色 640×400ドット 4,096色中256色* 640×480ドット 4,096色中256色 *:Windows 95のMS-DOSモードおよびMS-DOS 6.2で、拡張グラフィックドライバ使用時のみ表示可能		
衣示機能		アクセラレータ 機能	グラフィックアクセラレータチップ:Trident社製Cyber 9385™-1搭載(ビデオアクセラレーション機能搭載) *:インストール済みのWindows 95でソフトウェアMPEG再生機能を利用した場合のみ有効(ただし、密度変換時は使用不可)		
			640 × 480 ドット 26万色中256色 800 × 600 ドット 65,536色 640 × 480 ドット 65,536色 800 × 600 ドット 1,677万色注 640 × 480 ドット 1,677万色注 1,024 × 768 ドット 26万色中256色注 800 × 600 ドット 26万色中256色 1,024 × 768 ドット 65,536色注 1,280 × 1,024 ドット 26万色中256色注 1,280 × 1,024 ドット 26万色中256色注 1,280 × 1,024 ドット 26万色中256色注		
			注2: CRTディスプレイ(別売) 接続時のみ表示可能		
	画面合	戎	テキスト画面とグラフィック画面の合成表示が可能		
	漢字表:	示	JIS第1、第2水準漢字ROM標準装備、JIS第1、第2水準漢字 7,600字 ユーザ定義文字 188字、40×20/25行、テキスト画面とグラフィック画面の合成表示が可能		
キーボード			JIS標準配列(英数、かな)、本体との一体型 コントロールキー、12ファンクションキー Windowsキー、アプリケーションキー、HELP、COPY、BS、INS、DEL、XFER、NFER、NUMキー、 NUMキーキャンセル機能(98NOTEメニュー切り替え)		
ポイ	インティ	ングデバイス	98スライドパッド標準装備		
			640K / 1M / 1.44Mバイトタイプの3モード対応3.5インチフロッピーディスクドライブ内蔵		
装置	ハードラ	ディスク	2Gバイトタイプハードディスク1ドライブ内蔵 <sup>2,3</sup>		
オ	入力		マイク入力(モノラル)、ライン入力(ステレオ)		
デ			入力インピーダンス20k 、入力レベル最大2Vrmsゲイン+6dB		
オ	出力		ヘッドホン/ライン共用出力(ステレオ)		
			出力インピーダンス56 、出力レベル最大0.85Vrms		
イ	マウスイ		内蔵 98スライドパッドと同時使用可能)		
ダ  フリンタインターフェイス   パラレルインターフェイス(ハーフピッチ36ピンコネクタ)   Ⅰ   別売のMIDI/JOYSTICK変換ケーブル(PC-9821N-K07またはPC-9821N-K08)によりMIDI機器 /   フ   ティックを接続可能					
ィ	CRTイン	ノターフェイス	アナログRGBセパレート信号出力、D-sub15ピン(75 アナログインターフェイス・カラー)		
ス	ビデオと	出力	ビデオ入力を持つ機器(TV、ビデオ等)へPC画像を出力可能		
	シリアル・	インターフェイス	1ch内蔵 ( ハーフピッチ14ピンコネクタ、最高115.2Kbps対応 )		
	赤外線通	信ポート	IrDA規格に準拠、データ転送速度最大4Mbps		
	テンキー	インターフェイス	キーボード、テンキーボード接続可能		
セキュリティ機能		ィ機能	あり		
サスペンド / レジューム機能		レジューム機能	あり、LCD連動サスペンド / レジューム機能搭載 98NOTEメニューにより設定可能 )		
ハ-	イバネー	ション機能	あり		
98NOTEメニュー			本体ROMに内蔵(ディップスイッチの設定、動作環境の設定等)		
カレンダ時計		it	リチウムバッテリによるバックアップ		
שי	 シンド機i	 能	PCM録音 / 再生機能、エンハンスドFM音源機能 標準FM音源 FM音源6音、リズム音源6音、SSG音源3音 1 拡張FM音源 FM音源20音 ]		
		サラウンド	エンハンスド・ステレオ機能		
デシ	/タル動画	(MPEG)再生機能	再生ソフトウェア標準添付		

付録

モデル	PC-9821Nr150/S20
PCカードスロット	TYPE ×2スロット内蔵 TYPE ×1スロットとして使用可)( PC Card Standard準拠) CardBus / ZVポート対応( ZVポートはスロット0のみ対応)
電源	AC 100V±10%、50/60Hz (ACアダプタ <sup>4</sup> 経由)またはニッケル水素バッテリ (バッテリパックDC9.6V、 3,300mAh)
サブバッテリ	ACアダプタ未接続時、バッテリ未接続時に、サスペンドの内容を保持(7.2V、70mAh)
温湿度条件	10~35 、20~80% (ただし結露しないこと)
外形寸法	306(W)×243(D)×47(H)mm(最上部49.5(H)mm、突起部含まず)
重量	約3.1kg(本体にバッテリパック取り付け時)
消費電力	約20%(内蔵オプション最大接続時 約45%)

約1.7時間

#### バッテリパックの充電時間 7

#### バッテリリフレッシュ時間 7

	本機電源ON時	本機電源0FF時	
充電時間	約2.3時間	約2.1時間	l

#### バッテリパックでの使用時間 7

約XX時間

#### バッテリによるサスペンド内容の保持時間 7

本機の状態	保持時間
バッテリフル充電時	約5日
バッテリパックを本機から取り 外してから <sup>8</sup>	約 1 時間

#### 1 液晶ディスプレイは消耗部品です。 液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。 また、輝度やコントラストの調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微 細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

- 2 ハードディスク容量は1Mバイト=1,000,000バイトで計算したときのMバイト値です。0Sによっては1Mバイト=1,048,576バイトでMバイト値を計算するため、この値よりも小さな値で表示される場合があります。
- 3 領域を変更する場合は『再セットアップガイド』をご覧ください。
- 4 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V 対応です。
- 5 バッテリパックは消耗品です。
- 6 18 ~28 、45%~75%での使用を推奨。
- 7 時間は本機のご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。
- 8 サブバッテリのみの保持時間です。



ステップアップガイド PC-9821Nr150/520 1998年2月 初始 NEC

808-875488-100-A